

## 14. 所外発表論文等

## 14-1 査読付論文

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
1	圧縮靱性を持つ既製コンクリート杭の一軸圧縮実験	渡邊秀和, 宮原清, 大塚悠里, 向井智久, 平出務, 中村聡宏, 木谷好伸, 平岡一樹	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第27巻, 第66号, pp.726-731	R3年 6月
2	明るさの異なる高解像度画像を用いた柱部材のひび割れ幅評価	山本慎, 向井智久, 衣笠秀行	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第27巻, 第67号, pp.1547-1552	R3年 10月
3	UFC パネル挟込接着補強を施した損傷RC造ピロティ柱に対する載荷実験	隈部敦史, 谷昌典, 向井智久, 渡邊秀和, 西山峰広, 石岡拓, 服部翼, 松本大亮, 堀伸輔	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第27巻, 第67号, pp.1273-1278	R3年 10月
4	高密度計測による計測値の真値推定と二時期の計測データの差分算出による高精度三次元レーザー計測法	碓崎賢一, 向井智久, 荒木俊輔	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第28巻, 第68号, pp.515-520	R4年 2月
5	Flexural performance of cast-in-place concretefilled steel tube piles under varying axial load	Naresh Subedi, Shreya Thusoo, Taku Obara, Susumu Kono, Osamu Kaneko, Tetsuo Hayakawa, Hidekazu Watanabe, Tomohisa Mukai	Thin-Walled Structures	Elsevier	Vol.174, Article No.109130	R4年 3月
6	新耐震基準で設計されたRC造ピロティ架構試験体の増分解析	若松諒, 向井智久, 渡邊秀和, 衣笠秀行	日本コンクリート 工学会年次論文集	日本コンクリート 工学会	第43巻, 第2号, pp.37-42	R3年 7月
7	場所打ちコンクリート杭のパイルキャップの破壊性状の検討	岸田慎司, 向井智久, 渡邊秀和	日本コンクリート 工学会年次論文集	日本コンクリート 工学会	第43巻, 第2号, pp.121-126	R3年 7月
8	加熱を被ったあと施工アンカーの接着および付着強度の関係	伊藤成胤, 向井智久, 南部禎士, 鈴木淳一	日本コンクリート 工学会年次論文集	日本コンクリート 工学会	第43巻, 第2号, pp.361-366	R3年 7月
9	SHAKING-TABLE TESTS OF A FULLSCALE TEN-STORY REINFORCED-CONCRETE BUILDING (FY2015). PHASE I: FREE-STANDING SYSTEM WITH BASE SLIDING AND UPLIFTING	Koichi Kajiwara, Yusuke Tosauchi, Jae-Do Kang, Kunio Fukuyama, Eiji Sato, Takahito Inoue, Toshimi Kabeyasawa, Hitoshi Shiohara, Takuya Nagae, Toshikazu Kabeyasawa, Hiroshi Fukuyama, Tomohisa Mukai	Elsevier STM Journals	Engineering Structures	Vol.233, Article No.111848	R3年 4月
10	新設開口設置に伴い補強した壁式連層耐力壁架構の耐震性能に関する実験的研究	◎中村聡宏, 向井智久, 有木克良, 高橋良輔	日本コンクリート 工学会年次論文集	日本コンクリート 工学会	第43巻, 第2号, pp.511-516	R3年 7月
11	新設開口設置に伴い補強した壁式連層耐力壁架構のモデル化手法	◎向井智久, 中村聡宏, 有木克良, 高橋良輔	日本コンクリート 工学会年次論文集	日本コンクリート 工学会	第43巻, 第2号, pp.517-522	R3年 7月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
12	鋼板挿入 CLT ドリフトピン接合部の最大耐力、降伏耐力および初期剛性の推定と実験による検証	◎中島昌一, 三木徳人(国総研), 秋山信彦(国総研), 荒木康弘(国総研)	日本建築学会 構造系論文集	日本建築学会	第 86 巻, 第 783 号, pp. 793-803	R3 年 5 月
13	ねじり試験およびブロックせん断試験による CLT の接着強度の評価	◎石原亘(北林試), 高梨隆也(北林試), 大橋義徳(北林試), 宮崎淳子(北林試), 中島昌一, 宮武敦(森林総研), 新藤健太(森林総研)	日本木材学会誌	日本木材学会	第 67 巻 第 2 号, pp.100-108	R3 年 4 月
14	Detection of beam-end fractures in steel members based on local stiffness calculated by strain response	Jun Iyama, Yoshihiro Fukushima(東大), <u>Takashi Hasegawa,</u> <u>Hiroto Nakagawa,</u> Yosuke Kaneshiro(JFE)	Engineering Structures	ELSEVIER	Vol.241, Article No.112419	R3 年 8 月
15	Experimental study on full-scale steel moment-resisting frames with nonstructural walls subjected to multiple earthquakes	Takanori Ishida(横国大), Randy Tenderan, Keita Kohtaki, Shoichi Kishiki(東工大), Jun Iyama(東大), <u>Takashi Hasegawa,</u> Tsuyoshi Seike, Satoshi Yamada(東大)	Engineering Structures	ELSEVIER	Vol. 242, Article No.112459	R3 年 9 月
16	Cyclic behaviors of SHS columns subjected to small amplitude loading	Takanori Ishida(横国大), Yang Dong, Shoichi Kishiki(東工大), Satoshi Yamada(東大), <u>Takashi Hasegawa</u>	Engineering Structures	ELSEVIER	Vol. 252, Article No.113611	R4 年 2 月
17	LOW CYCLE FATIGUE PERFORMANCE OF SHS COLUMNS SUBJECTED TO SMALL AMPLITUDE LOADING	Yang DONG(東工大), Takanori ISHIDA(横国大), Shoichi KISHIKI(東工大), Satoshi YAMADA(東大), <u>Takashi Hasegawa</u>	鋼構造年次論文 報告集	日本鋼構造協 会	第 29 巻, pp.318-327	R3 年 11 月
18	地震前後のひずみ計測に基づく梁端部の損傷評価に関する振動台実験	◎孫凱楽, 福島佳浩, 伊山 潤(東大), 廣嶋哲(日本製鉄), <u>長谷川 隆</u>	鋼構造年次論文 報告集	日本鋼構造協 会	第 29 巻 pp.248-255	R3 年 11 月
19	ボルト接合のすべりに着目したブレース架構の実験	◎平本佳祐, 黒澤未来, 巽信彦, 吉敷祥一(東工大), <u>長谷川隆</u>	鋼構造年次論文 報告集	日本鋼構造協 会	第 29 巻, pp.624~630	R3 年 11 月
20	様々な屋根形状の大スパン屋根に作用する非定常空気量に関する考察その1:一般化風力に基づく非定常空気力について	◎高館祐貴, 植松康	膜構造ジャーナル 2021	日本膜構造協 会	第1号, pp. 7 - 16	R4 年 3 月
21	液状化地盤において杭頭局所変形を生じる鋼管杭の終局挙動	◎的場萌子, 古川秀(東北大), 木村祥裕(東北大)	鋼構造年次論文 報告集	日本鋼構造協 会	第 29 巻, pp. 328-333	R3 年 11 月
22	複数回地震動を受ける上部構造物・杭基礎ー液状化地盤系の遠心載荷実験による鋼管杭の累積損傷評価	◎的場萌子, 木村祥裕(東北大), 田村修次(東工大)	日本建築学会 構造系論文集	日本建築学会	第 86 巻, 第 783 号, pp. 749-760	R3 年 5 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
23	Assessment of water pond cooling effect on urban microclimate: a parametric study with numerical modeling	Nedyomukti Imam Syafii, Masayuki Ichinose, Eiko Kumakura, SteveKardinal Jusuf, Wong Nyuk Hien, Kohei Chigusa, <u>Yasunobu Ashie</u>	International Journal of technology	Universitas Indonesia	Vol.12, No.3 , pp. 461-471	R3 年 7 月
24	衣服温度の計測による着衣色が WBGT に及ぼす影響の考察	<u>足永靖信</u> ,熊倉永子,上野貴広	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第 27 巻, 第 66 号, pp. 790-794	R3 年 6 月
25	Fire Performance of EPS ETICS Facade: Effect of Test Scale and Masonry Cover	◎Biao Zhou, <u>Hideki Yoshioka</u> , Takafumi Noguchi, Kai Wang, Xinyan Huang	Fire Technology	Springer	doi.org/10.1007/s10694-021-01195-x	R3 年 12 月
26	Development of a new intermediate-scale box test on sandwich panel products compared with ISO 13784-1 room test and EN 13501-1 classification system	◎ <u>Hideki Yoshioka</u> , Takafumi Noguchi, Kyoichi Kobayashi, Manabu Kanematsu, Tatsuo Ando, Sanjay Pareek, Tetsuya Hayakawa	Fire and Materials	Wiley	Vol. 45, No. 8, pp.1025-1034	R3 年 12 月
27	Numerical and Experimental Study of Cedar Façade Fire	◎Biao Zhou, <u>Hideki Yoshioka</u> , Manabu Kanematsu, Takafumi Noguchi	Fire and Materials	Wiley	DOI:10.1002/fam.2983	R3 年 5 月
28	地震火災時の不完全情報下における最遅避難時刻の不確実性を考慮した避難安全限界時期のリアルタイム判定に関する基礎的検討	◎ <u>鈴木雄太</u> , 糸井川栄一(筑波大)	地域安全学会論 文集	地域安全学会	第 39 巻, pp.279-289	R3 年 5 月
29	コンクリート用砕石・砕砂の規格・基準の変遷に関する調査	◎阿部道彦, <u>鹿毛忠継</u> , 真野孝次(建 材試験センター)	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第 27 巻, 第 67 号, pp.1122-1127	R3 年 10 月
30	コンクリート用細骨材の粒度規定の変遷に関する調査	◎阿部道彦, <u>鹿毛忠継</u> , 真野孝次(建 材試験センター)	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第 27 巻, 第 67 号, pp.1134-1139	R3 年 10 月
31	コンクリート内湿度の変動メカニズムおよびその分離手法に関する研究	◎ <u>中田清史</u> , <u>鹿毛忠継</u> , <u>松沢晃一</u>	日本コンクリート 工学会年次論文集	日本コンクリート 工学会	第 43 巻, 第 1 号, pp.449-454	R3 年 7 月
32	モデル建物の 30 年屋外暴露試験に基づく仕上材による中性化および鉄筋腐食抑制効果	◎ <u>松沢晃一</u> ,千歩修(北大), <u>鹿毛忠継</u> , <u>中田清史</u> , <u>井上照郷</u> (日本建築仕上材工業 会), <u>根本かおり</u> (国総研)	日本建築学会 構造系論文集	日本建築学会	第 86 巻, 第 786 号, pp.1126-1134	R3 年 8 月
33	マンションの老朽化認定の評価方法に関する検討	◎土屋直子(国総研), 三島直生(国総 研), <u>中田清史</u> , <u>松沢晃一</u> , <u>鹿毛忠継</u> , <u>棚野博之</u> , <u>阿部道彦</u> (工学院大), <u>井川倫宏</u> (八洋コンサルタント), <u>横山博</u> (八洋コン サルタント), <u>彦坂信之</u> (建築研究振興協 会)	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第 28 巻, 第 68 号, pp.70-75	R4 年 2 月
34	一般環境下におけるコンクリート内水分状態評価への多変量自己回帰モデルの適用性に関する研究	◎ <u>中田清史</u> , <u>松沢晃一</u> , <u>鹿毛忠継</u>	日本建築学会 構造系論文集	日本建築学会	第 86 巻, 第 784 号, pp.871-880	R3 年 6 月
35	調湿炭酸化試験による炭酸化速度の湿度依存性に関する研究	◎小宮克仁(理科大), <u>中田清史</u> , <u>西尾悠平</u> (理科大), <u>兼松学</u> (理科大)	日本コンクリート 工学会年次論文集	日本コンクリート 工学会	第 43 巻, 第 1 号, pp.443-448	R3 年 7 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
36	大径丸太由来の構造用製材の長期荷重に対する特性	◎榎本敬大,加藤英雄(森林総研),荒武志朗(宮崎県木材利用技術センター),松元明弘(宮崎県木材利用技術センター),高梨隆也(北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場),大橋義徳(北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場),石原亘(北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場)	木材工業	日本木材加工技術協会	第76巻 第11号, pp.493-498	R3年 11月
37	鋼板添え板スクリー接合による集成材ラーメン接合部の開発(その2):部分架構実験による実態性能の把握と設計可能性の検討	◎秋山信彦(国総研),岡本滋史(大阪市立大),小林研治(静岡大), <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第27巻, 第66号, pp.696-701	R3年 6月
38	繰り返し荷重を受けるモーメント抵抗型集成材接合部の性能評価	<u>山崎義弘</u> ,清水舜(東工大),坂田弘安(東工大)	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第28巻, 第68号, pp.167-172	R4年 2月
39	曲げモーメントと軸力の複合応力を受ける集成材柱脚部およびCLT壁脚部の性能評価	<u>山崎義弘</u> ,溝口比菜(名工大),松田和浩(名城大),秋山信彦(国総研)	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第28巻, 第68号, pp.161-166	R4年 2月
40	両側フランジをラグスクリーで固定したドッグボーン付き木鋼ハイブリッド柱梁接合部の変形性能	斉藤瞭(東工大),原田公明(日建設計),寺澤友貴(東工大), <u>山崎義弘</u> ,林賢一(日鉄エンジニア),坂田弘安(東工大),竹内徹(東工大)	日本建築学会 構造系論文集	日本建築学会	第86巻, 第786号, pp.1224-1234	R3年 8月
41	引きボルト式集成材ラーメン構造の耐震設計法に関する研究 軸力を考慮した柱脚接合部の剛性および耐力の推定方法の提案	◎秋山信彦(国総研),岡本滋史(大阪市立大), <u>山崎義弘</u> , <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 構造系論文集	日本建築学会	第87巻, 第793号, pp.295-306	R4年 3月
42	動荷重に対する張り床の耐ふくれ性の標準的な試験方法	◎藤井佑太朗(東工大),林拓真(東工大), <u>福田眞太郎</u> , <u>横山裕</u>	日本建築学会 構造系論文集	日本建築学会	第87巻, 第791号 pp.31-41	R4年 1月
43	戸建住宅の浸水被害と補修方法の関係についての考察 -平成30年7月豪雨で被災した広島県三原市の復旧事例を対象として-	◎ <u>渡邊史郎</u> ,今井信博(現代計画研究所),井上拓哉(現代計画研究所)	日本建築学会 計画系論文集	日本建築学会	第86巻, 第788号, pp.2431-2440	R3年 10月
44	面内変形と面外慣性力を組み合わせたLGS壁の静的荷重実験	◎磯田充樹(東工大), <u>沖佑典</u> ,巽信彦,吉敷祥一,石原直	鋼構造年次論文 報告集	日本鋼構造協 会	第29巻, pp.366-373	R3年 11月
45	鉄骨骨組に設置された小規模軽量鉄骨下地間仕切壁の面外振動実験	◎ <u>沖佑典</u> ,石原直(国総研),岩田善裕, <u>長谷川隆</u>	鋼構造年次論文 報告集	日本鋼構造協 会	第29巻, pp.800-807	R3年 11月
46	水害実績図を用いた市街地における浸水実績の把握と水害リスクの評価	◎ <u>中野卓</u> , <u>木内望</u>	都市計画論文集	日本都市計画 学会	第56巻, 第3号, pp.1473-1480	R3年 10月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
47	既存分譲マンションの浸水対策改修とその費用対効果に関するモデル的検討	◎木内望,中野卓,藤木亮介(明海大),山木慎介((株)翔設計)	日本建築学会 技術報告集	日本建築学会	第 28 巻, 第 68 号, pp.442-447	R4 年 2 月
48	2016 年熊本地震における益城町被災者の民間借上げ仮設住宅を経た住宅復興過程の特徴と課題－建設型仮設住宅及び東日本大震災との比較	◎上山紘平,近藤民代,渡邊萌,円山琢也,米野史健	都市計画論文集	日本都市計画 学会	第 56 巻 第 3 号, pp.944-951	R3 年 10 月
49	世帯を単位とした将来推計における初期世帯マイクロデータ生成の高速化	◎阪田知彦, 鈴木温(名城大),杉木直(豊橋技科大),正木俊行(アカデミックエクスプレス株式会社),田寛之(アカデミックエクスプレス株式会社)	土木学会論文 集 D3(土木計画 学)	土木学会	第 76 巻, 第 5 号, pp.425-435	R3 年 4 月
50	Backward earthquake ruptures far ahead of fluid invasion: Insights from dynamic earthquake-sequence simulations	◎Keisuke Yoshida (東北大), Hiroyuki Noda (京大), Masao Nakatani (東大), <u>Bunichiro Shibazaki</u>	Tectonophysics	Springer	Vol.816, Article No.229038	R3 年 10 月
51	Increment in the volcanic unrest and number of eruptions after the 2012 large earthquakes sequence in Central America	◎Gino González, Eisuke Fujita (防災科研), <u>Bunichiro Shibazaki</u> , <u>Takumi Hayashida</u> , et al.	Scientific reports	Springer Nature	Vol.11, Article No.22417	R3 年 11 月
52	Re-examination of Slip Distribution of the 2004 Sumatra-Andaman Earthquake (Mw 9.2) by the Inversion of Tsunami Data Using Green's Functions Corrected for Compressible Seawater Over the Elastic Earth	◎Yushiro Fujii, Kenji Satake (Univ. Tokyo), Shingo Watada (Univ. Tokyo), Tung-Cheng Ho(Kyoto Univ.)	Pure and Applied Geophysics	Springer	Vol.178, No.12, pp.4777-4796  <a href="https://doi.org/10.1007/s00024-021-02909-6">https://doi.org/10.1007/s00024-021-02909-6</a>	R3 年 11 月
53	Estimation and verification of the yield deformation of reinforced concrete members	◎Zekin Wang (東大地震研), Koichi Kusunoki (東大地震研), Masaomi Teshigawara (中部大), <u>Haruhiko Suwada</u> , Masanobu Sakashita (国総研)	Engineering Structures	ELSEVIER	Vol.249, Article No.113252	R3 年 10 月
54	高靱性セメント系複合材料を用いた二次壁を有する RC 造架構の耐震性能	◎諏訪田晴彦	日本建築学会 構造系論文集	日本建築学会	第 86 巻, 第 789 号, pp.1539-1548	R3 年 11 月
55	Effects of episodic slow slip on seismicity and stress near a subductionzone megathrust	◎Saeko Kita, Heidi Houston, Suguru Yabe(産総研), Sachiko Tanaka, Youichi Asano (防災科研), Takuo Shibutani(京大), Naoki Suda(広大)	Nature Communications	Springer Nature	Vol.12, Article No.7253	R3 年 12 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
56	An assessment of uncertainties in VS profiles obtained from microtremor observations in the phased 2018 COSMOS blind trials	◎Michael W. Asten, Alan Yong (USGS), Sebastiano Foti, Koichi Hayashi, Antony J. Martin (GEOVision, Inc.), William J. Stephenson (USGS), John F. Cassidy, Jacie Coleman (COSMOS), Robert Nigbor (Università Di Bologna), Silvia Castellaro (Università Di Bologna), Kosuke Chimoto (香川大), Cécile Cornou (ISTerre), Ikuo Cho (産総研), <u>Takumi Hayashida</u> , Manuel Hobiger (ETH Zurich), Chun-Hsiang Kuo (National Central University, Taiwan), Albert Macau (Institut Cartogràfic I Geològic de Catalunya), E. Diego Mercerat (Equipe Repsody), Sheri Molnar (University of Western Ontario), Passakorn Pananont (Kasetsart University), Marco Pilz	Journal of Seismology	Springer	Vol.26  <a href="https://doi.org/10.1007/s10950-021-10059-4">https://doi.org/10.1007/s10950-021-10059-4</a>	R4 年 1 月
57	首都圏における木造軸組構法住宅の耐震性能に関する研究	◎大塚悠里, 五十田博 (京大生存圏), 平石久廣 (明治大)	日本建築学会 構造系論文集	日本建築学会	第 86 巻, 第 790 号, pp.1664-1673	R3 年 12 月

## 14-2 その他学会発表論文等

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
1.	ディーブラーニングによる鉄骨造柱脚部と定着部の被災度区分に関する検討	◎森田高市,長谷川隆	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 II, pp. 5-6	R3 年 9 月
2.	模擬微動場を用いた傾斜基盤を有する地盤の H/V スペクトルに関する一検討	◎新井洋	第 56 回地盤工学 研究発表会講演集	地盤工学会	13-9-3-03	R3 年 7 月
3.	中低層杭基礎建物の地震観測に基づく上部構造慣性力と地盤変位の位相差に関する一検討	◎新井洋	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 II, pp. 837-838	R3 年 9 月
4.	微動の全波動場モデリングによる位相速度と H/V スペクトルー京都盆地基準ボーリング地点での検証ー	◎上林宏敏(京大), 長郁夫(産総研), 大堀道広(福井大), 吉田邦一(地域地盤環境研究所), 新井洋, 山田浩二(阪神コンサルタンツ)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 II, pp. 313-314	R3 年 9 月
5.	超高層建物の基礎設計における地震荷重と必要な地盤評価	◎新井洋	日本建築学会大会 構造部門(基礎構 造)パネルディスカッ ション資料	日本建築学会	pp. 45-58	R3 年 9 月
6.	Cyclic Loading Tests on Reinforced Concrete Columns Strengthened by UFC Panels	Sua LIM, Masanori TANI, Tomohisa MUKAI, Hidekazu WATANABE, Taku ISHIOKA, Masayoshi KOMIYAMA, Tsubasa HATTORI, Daisuke MATSUMOTO	Proceedings of the 22th Taiwan-Japan- Korea Joint Seminar on Earthquake Engineering for Building Structures	Executive Committee of SEEBUS	pp.8-17	R3 年 10 月
7.	接着系あと施工アンカーの付着抵抗機構に関する基礎研究	向井 智久,伊藤 成胤(東京理科大学),鈴木 裕士(原子力科学研究所),南部 禎士(UR 都市機構),松沢晃二,有木 克良	日本建築学会 北海道支部 研究報告集	日本建築学会	第 94 号, pp.59-65	R3 年 6 月
8.	UFC パネルにより耐震補強された RC 造ピロティ柱の載荷実験 その 1:無損傷試験体に対する補強効果	谷昌典,吉田遥夏,林洙娥,石原滯,渡邊秀和,向井智久,石岡拓,小宮山征義,服部翼,松本大亮	日本建築学会 北海道支部 研究報告集	日本建築学会	第 94 号, pp.406-409	R3 年 6 月
9.	UFC パネルにより耐震補強された RC 造ピロティ柱の載荷実験 その 2:損傷を受けた試験体に対する補強効果	林洙娥,石原滯,吉田遥夏,谷 昌典,渡邊秀和,向井智久,石岡拓,小宮山征義,服部 翼,松本大亮	日本建築学会 北海道支部 研究報告集	日本建築学会	第 94 号, pp.410-413	R3 年 6 月
10.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その 39:屋内 GNSS 情報配信による時刻同期機能を有する地震センサシステム	倉田成人(筑波技術大学),向井智久,坂下雅信,石井真(イネープラー),篠原隆浩(イネープラー),宗圓忠臣(イネープラー),有木克良,樽木洋貴(イネープラー),勅使川原正臣(中部大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	情報システム 技術, pp.83-84	R3 年 9 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
11.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その 40 地上型レーザースキャナー(TLS)を用いた計測計画及び損傷結果	◎根本直行(九州工大), <u>碓崎賢一</u> (九州工大), <u>向井智久</u> , <u>村山盛行</u> (株式会社フィールドテック), <u>諏訪田晴彦</u> , <u>勅使川原正臣</u> (中部大), <u>梶原浩一</u> (防災科研), <u>太田勤</u> (堀江建築工学研究所)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	情報システム 技術, pp.85-86	R3 年 9 月
12.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その 41 レーザースキャナーによる動的挙動の計測と処理結果	<u>碓崎賢一</u> , <u>根本直行</u> , <u>向井智久</u> , <u>村山盛行</u> , <u>勅使川原正臣</u> , <u>稲井栄一</u> , <u>楠浩一</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	情報システム 技術, pp.87-88	R3 年 9 月
13.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その 43 高解像度写真を用いた撮影計画	<u>雨谷周也</u> , <u>向井智久</u> , <u>山口唯理</u> , <u>中村聡宏</u> , <u>坂下雅信</u> , <u>勅使川原正臣</u> , <u>楠浩一</u> , <u>丸山一平</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	情報システム 技術, pp.91-92	R3 年 9 月
14.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その 44 撮影された高解像度写真の結果	<u>山口唯理</u> (スカイリンクジャパン), <u>向井智久</u> , <u>雨谷周也</u> (スカイリンクジャパン), <u>有木克良</u> , <u>勅使川原正臣</u> (中部大), <u>丸山一平</u> (名古屋大), <u>梶原浩一</u> (防災科研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	情報システム 技術, pp.93-94	R3 年 9 月
15.	動的遠心載荷実験における耐震壁が杭応力に及ぼす影響	<u>田村修次</u> , <u>笛木怜</u> , <u>楠浩一</u> , <u>日比野陽</u> , <u>向井智久</u> , <u>竹村次朗</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 I, pp.479-480	R3 年 9 月
16.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その 34 スマートフォンを活用した観測システムの計測手法の検証	◎ <u>有木克良</u> , <u>向井智久</u> , <u>村田康一</u> (株式会社ナレッジフォーサイト), <u>坂下雅信</u> (国総研), <u>諏訪田晴彦</u> , <u>勅使川原正臣</u> (中部大), <u>稲井栄一</u> (山口大), <u>楠浩一</u> (東大地震研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 II, pp.103-104	R3 年 9 月
17.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その 35 高感度 MEMS センサーを用いた観測システムの計測手法の精度検証	<u>村田康一</u> (ナレッジフォーサイト), <u>向井智久</u> , <u>有木克良</u> , <u>坂下雅信</u> , <u>勅使川原正臣</u> (中部大), <u>丸山一平</u> (名古屋大), <u>楠浩一</u> (東大地震研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 II, pp.105-106	R3 年 9 月
18.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その 37 応急危険度判定に資する構造ヘルスマニタリングで得られるデータの利活用に関する基礎検討	<u>加地正明</u> , <u>向井智久</u> , <u>若目田美冨</u> , <u>福山洋</u> , <u>勅使川原正臣</u> , <u>楠浩一</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 II, pp.109-110	R3 年 9 月
19.	衛星測位における建築物の地震時応答変位観測に関する基礎研究	<u>田嶋一之</u> , <u>向井智久</u> , <u>毎田悠承</u> , <u>南部禎士</u> , <u>鹿嶋俊英</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 II, pp.999-1000	R3 年 9 月
20.	振動台を用いた安価な加速度センサの計測性能評価法のための基礎研究	<u>吉田まほ子</u> (東京理科大), <u>渡辺美雪</u> (東京理科大), <u>向井智久</u> , <u>有木克良</u> , <u>倉田成人</u> (筑波技術大), <u>衣笠秀行</u> (東京理科大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 II, pp.1001-1002	R3 年 9 月
21.	接着系あと施工アンカーの中性子ビームを使用した革新的計測技術の精度検証 その 1 中性子イメージング技術を使用した未充填部の評価	<u>伊藤成胤</u> (東京理科大), <u>向井智久</u> , <u>鈴木裕士</u> (原子力科学研究所), <u>南部禎士</u> (UR都市機構), <u>有木克良</u> , <u>笹本潤平</u> (東京理科大), <u>衣笠秀行</u> (東京理科大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 IV, pp.109-110	R3 年 9 月



No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
22.	接着系あと施工アンカーの中性子ビームを使用した革新的計測技術の精度検証 その2 中性子回折法を使用した鉄筋歪の評価	笹本潤平(東京理科大), <u>向井智久</u> , 鈴木裕士(原子力科学研究所), 南部禎士(UR都市機構), <u>有木克良</u> , 伊藤成胤(東京理科大), <u>衣笠秀行</u> (東京理科大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.111-112	R3年 9月
23.	接着系あと施工アンカーを用いた部材の構造特性評価に関する研究 その27 試験体スラブの長期試験(載荷開始後59か月経過時点での測定結果)	香取慶一(東洋大), <u>向井智久</u> , <u>有木克良</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.115-116	R3年 9月
24.	付着が不利な条件の梁部材における溶融亜鉛めっき鉄筋の付着性状評価	崔ホンボク, <u>向井智久</u> , <u>工藤陸</u> , <u>兼松学</u> , <u>野口貴文</u> , <u>衣笠秀行</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.297-298	R3年 9月
25.	被災RC建築物の残存耐震性能評価法に関する研究 その1 静的立体架構実験に基づく実損傷と整合した静的耐震性能残存率算出方法の検討	渡辺美雪, <u>向井智久</u> , <u>吉田まほ子</u> , <u>衣笠秀行</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.453-454	R3年 9月
26.	被災RC建築物の残存耐震性能評価法に関する研究 その2 静的立体架構解析に基づく静的耐震性能残存率算出方法の検討	<u>向井智久</u> , <u>渡辺美雪</u> , <u>吉田まほ子</u> , <u>衣笠秀行</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.455-456	R3年 9月
27.	1質点系モデルを用いた地震時の修復時間評価法の開発	小中翼, <u>衣笠秀行</u> , <u>向井智久</u> , <u>崔ホンボク</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.487-488	R3年 9月
28.	RC建物の最大作業員数に着目したレジリエンス性能評価法の開発	鈴木喜裕, <u>衣笠秀行</u> , <u>向井智久</u> , <u>崔ホンボク</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.489-490	R3年 9月
29.	損傷の量と広がりに着目したRC低・中・高層建物のレジリエンス性能に関する研究	柴田蓮, <u>衣笠秀行</u> , <u>向井智久</u> , <u>崔ホンボク</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.499-500	R3年 9月
30.	崩壊形の違いがRC建物のレジリエンス性能へ及ぼす影響	大山智頌, <u>衣笠秀行</u> , <u>向井智久</u> , <u>崔ホンボク</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.505-506	R3年 9月
31.	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その20 試験体の設計	迫田丈志, <u>勅使川原正臣</u> , <u>楠浩一</u> , <u>稲井栄一</u> , <u>尾畑徹</u> , <u>高橋愛</u> , <u>浅井竜也</u> , <u>諏訪田晴彦</u> , <u>向井智久</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.511-512	R3年 9月
32.	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その27 降伏変形評価手法の提案	浅井竜也, <u>勅使川原正臣</u> , <u>楠浩一</u> , <u>稲井栄一</u> , <u>長江拓也</u> , <u>高橋愛</u> , <u>吉川拳人</u> , <u>諏訪田晴彦</u> , <u>向井智久</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.525-526	R3年 9月
33.	せん断破壊実験後に補修・補強を施したピロティ柱の再加力実験	松本大亮, <u>向井智久</u> , <u>渡邊秀和</u> , <u>服部翼</u> , <u>石岡拓</u> , <u>堀伸輔</u> , <u>谷昌典</u> , <u>若松諒</u> , <u>保永将矢</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.639-640	R3年 9月
34.	新耐震基準で設計され補強されたピロティ架構試験体の実験研究 (その1) 全体計画及び試験体概要	<u>渡邊秀和</u> , <u>向井智久</u> , <u>松本大亮</u> , <u>服部翼</u> , <u>石岡拓</u> , <u>小宮山征義</u> , <u>谷昌典</u> , <u>若松諒</u> , <u>保永将矢</u> , <u>山本慎</u> , <u>三角和歩</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.659-660	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
35.	新耐震基準で設計され補強されたピロティ架構試験体の実験研究 (その2) 加力計画及び計測計画	小宮山征義, 向井智久, 渡邊秀和, 服部翼, 石岡拓, 松本大亮, 谷昌典, 若松諒, 保永将矢, 山本慎, 三角和歩	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.661-662	R3年 9月
36.	新耐震基準で設計され補強されたピロティ架構試験体の実験研究 (その3) 実験結果	三角和歩, 向井智久, 渡邊秀和, 服部翼, 小宮山征義, 石岡拓, 松浦恒久, 谷昌典, 若松諒, 保永将矢, 山本慎	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.663-664	R3年 9月
37.	新耐震基準で設計され補強されたピロティ架構試験体の実験研究 (その4) 補強効果	保永将矢, 向井智久, 渡邊秀和, 前川利雄, 石岡拓, 松本大亮, 小宮山征義, 谷昌典, 若松諒, 山本慎, 三角和歩	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.665-666	R3年 9月
38.	新耐震基準で設計され補強されたピロティ架構試験体の実験研究 (その5) ピロティ架構の骨組解析	若松諒, 向井智久, 渡邊秀和, 前川利雄, 石岡拓, 松浦恒久, 小宮山征義, 谷昌典, 保永将矢, 山本慎, 三角和歩	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.667-668	R3年 9月
39.	新耐震基準で設計され補強されたピロティ柱架構試験体の実験研究 (その6) 各種カメラにより撮影された画像を用いたひび割れ幅算定	山本慎, 向井智久, 渡邊秀和, 服部翼, 石岡拓, 松本大亮, 小宮山征義, 谷昌典, 若松諒, 保永将矢, 三角和歩	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.669-670	R3年 9月
40.	接着系あと施工アンカーの引張, せん断試験時の載荷速度が試験結果に与える影響	上村昌平, 小森谷誠, 早崎洋一, 伊藤嘉則, 向井智久	日本地震工学会 大会梗概集	日本地震工学会	T2021-057	R3年 11月
41.	JAPANESE RECENT EXPERIMENTAL STUDIES ON ULTIMATE BEHAVIOR OF CONCRETE PILES AND PILE CAPS JAPANESE RECENT EXPERIMENTAL STUDIES ON ULTIMATE BEHAVIOR OF CONCRETE PILES AND PILE CAPS	Susumu Kono, <u>Tomohisa Mukai</u> , Katsumi Kobayashi, Osamu Kaneko, Shinji Kishida, Tsutomu Komuro, Taku Obara, David Jiro Mukai	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2i-0084	R3年 9月
42.	REPORT ON SEVERELY DAMAGED REINFORCED CONCRETE BUILDINGS BY 2016 KUMAMOTO EARTHQUAKE, JAPAN	Hitoshi Shiohara, Masaya Saito, Seitaro Tajiri, <u>Tomohisa Mukai</u>	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.10a-0015	R3年 9月
43.	DAMAGE EVALUATION OF RC COLUMNS WITH WING WALLS FROM THE VIEWPOINT OF REPAIR TIME	Reita Uchida, Hideyuki Kinugasa, <u>Tomohisa Mukai</u> , Yoriyuki Matsuda	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2c-0036	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
44.	DAMAGE EVALUATION OF RC BUILDINGS FROM THE VIEWPOINT OF FUNCTIONAL RECOVERY USING IDEAL REPAIR TIME	Hideyuki Kinugasa, <u>Tomohisa Mukai</u>	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2c-0037	R3 年 9 月
45.	E-defense test of a 10story Reinforced Concrete Building (FY 2018)	Jae-Do Kang, Koichi KAJIWARA, Kunio FUKUYAMA, Eiji SATO, Takahito INOUE, Toshimi KABEYASAWA, Hitoshi SHIOHARA, Takuya NAGAE, Toshikazu KABEYASAWA, <u>Hiroshi FUKUYAMA,</u> <u>Tomohisa MUKAI,</u> Yusuke TOSAUCHI	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2i-0186	R3 年 9 月
46.	2 story and 2 span frame test and analysis for R/C frame with spandrel wall	TADASHI NARUSE, Seitaro Tajiri, Masaomi Teshigawara, Koichi Kusunoki, <u>Hiroshi Fukuyama,</u> <u>Tomohisa Mukai,</u> <u>Akihiro Nakamura</u>	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2b-0017	R3 年 9 月
47.	DUCTILITY EVALUATION METHOD IN COLUMN WITH WING WALLS	Riku Kudo, <u>Tomohisa Mukai,</u> Hideyuki Kinugasa	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2b-0061	R3 年 9 月
48.	BASIC STUDY ON EVALUATION METHOD OF BUILDING DAMAGE STATES USING CAPACITY CURVE	Miyuki Watanabe, <u>Tomohisa Mukai,</u> Hideyuki Kinugasa	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.6a-0003	R3 年 9 月
49.	THE 2019 TOKYO METROPOLITAN RESILIENCE PROJECT E-DEFENSE TEST OF A 3-STORY DISASTER MANAGEMENT CENTER	Trevor Zhiqing Yeow, K. Kusunoki, I. Nakamura, Y. Hibino, T. Ohkubo, T. Seike, S. Yagi, <u>T. Mukai,</u> P. Calvi, M. Moustafa, S. Fukai	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2i-0020	R3 年 9 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
50.	Study on Seismic Performance of Reinforced Concrete Cast-in-place Pile	<u>Akihiro Nakamura,</u> <u>Tomohisa Mukai,</u> <u>Hidekazu Watanabe,</u> Masanobu Sakashita	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2c-0171	R3年 9月
51.	DAMAGE ASSESSMENT OF FULL-SCALE FIVE STORY REINFORCED CONCRETE BUILDINGS	Yuki Kido, Taku Obara, Susumu Kono, <u>Tomohisa Mukai,</u> David Mukai	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2j-0016	R3年 9月
52.	STUDY ON THE DISASTER INVESTIGATION OF RC BUILDING UTILIZING UAV	Yusuke Maida, <u>Tomohisa Mukai,</u> Hiroyuki Miyauchi, Shuya Amagai, Kazuki Fukumoto	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.9b-0006	R3年 9月
53.	FEASIBILITY STUDY ON REDUCING DAMAGE TO RC COLUMN WITH WING WALLS BY REMOVING WALL VERTICAL REBAR ANCHORAGE	Zheng ZHANG, Yasushi SANADA, Rokhyun Yoon, Koichi Kusunoki, Yo Hibino, <u>Tomohisa Mukai</u>	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2c-0325	R3年 9月
54.	ANALYTICAL STUDY OF RC BUILDING WITH SOFT FIRST STORY DESIGNED AFTER 1981 AND DAMAGED IN THE 2016 KUMAMOTO EARTHQUAKE	Ryo Wakamatsu, <u>Tomohisa Mukai,</u> Hideyuki Kinugasa, Yoriyuki Matsuda	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.10a-0018	R3年 9月
55.	A STUDY ON DAMAGE INVESTIGATION OF DAMEGED BUILDING DUE TO THE 2016 KUMAMOTO EARTHQUAKE	<u>Hidekazu Watanabe,</u> <u>Tomohisa Mukai,</u> Joji Sakuta, Osamu Kaneko, Nobuhide Narita	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.10a-0023	R3年 9月
56.	SEISMIC PERFORMANCE ESTIMATION BY RESPONSE ANALYSIS OF A BUILDING DAMAGED IN THE 2016 KUMAMOTO EARTHQUAKE	Joji Sakuta, <u>Tomohisa Mukai,</u> <u>Hidekazu Watanabe,</u> Osamu Kaneko, Nobuhide Narita	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.10a-0026	R3年 9月
57.	変形抑制された中層鋼構造建築物の大 地震時の床加速度に関する検討	◎ <u>岩田善裕</u>	日本地震工学会大 会梗概集	日本地震工学会	T2021-008	R3年 11月
58.	鋼構造の部材フラジリティを考慮した損 傷およびコスト評価手法	◎伊山潤(東大), 谷翼(大成建 設), 岩田善裕, 貞許美和(日建設 計), 岡野創(千葉大)	シンポジウム「大振 幅地震動に対する 耐震性能評価」	日本建築学会	pp.27-34	R3年 12月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
59.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その 42 振動台実験におけるモーションキャプチャを用いた動的変位計測)	◎中村聡宏, 浅井竜也(名古屋大), 向井智久, 諏訪田晴彦, 勅使川原正臣(中部大), 梶原浩一(防災科研), 太田勤(堀江建築工学研究所)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	情報システム 技術, pp.89-90	R3 年 9 月
60.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その 21 計測計画)	◎尾畑徹(堀江建築工学研究所), 勅使川原正臣(中部大), 楠浩一(東大地震研), 稲井栄一(山口大), 梶原浩一(防災科研), 青木崇(防災科研), 太田勤(堀江建築工学研究所), 諏訪田晴彦, 中村聡宏	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.513-514	R3 年 9 月
61.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その 24 損傷状況)	◎辻昂河(中部大), 勅使川原正臣(中部大), 楠浩一(東大地震研), 稲井栄一(山口大), 丸山一平(名古屋大), 太田勤(堀江建築工学研究所), 浅井竜也(名古屋大), 諏訪田晴彦, 中村聡宏	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.519-520	R3 年 9 月
62.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その 25 等価 1 自由度系縮約)	◎吉川拳人(名古屋大), 勅使川原正臣(中部大), 楠浩一(東大地震研), 稲井栄一(山口大), 長江拓也(名古屋大), 迫田丈志(堀江建築工学研究所), 浅井竜也(名古屋大), 諏訪田晴彦, 中村聡宏	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.521-522	R3 年 9 月
63.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その 31 被災度区分判定)	◎坂下雅信(国総研), 向井智久, 諏訪田晴彦, 中村聡宏, 有木克良, 福山洋, 勅使川原正臣(中部大), 楠浩一(東大地震研), 丸山一平(名古屋大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.533-534	R3 年 9 月
64.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討 その 36 被災度判定手法を構築するための計測手法の精度検証	◎若目田美冴, 向井智久, 加地正明, 有木克良, 中村聡宏, 勅使川原正臣, 丸山一平, 梶原浩一	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 II, pp.107-108	R3 年 9 月
65.	ト形部分架構バイルキャップにおける杭頭接合部の破壊性状の検討	◎岸田慎司, 向井智久, 渡邊秀和, 中村聡宏, 小原拓, 渡辺臣	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.397-398	R3 年 9 月
66.	アンボンド鋼管巻き中実杭の載荷実験 その 1 実験概要	◎渡辺臣, 宮原清, 向井智久, 平出務, 中村聡宏, 渡邊秀和, 小原拓, 平尾一樹, 木谷好伸, 浅井陽一, 松田竜	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.593-594	R3 年 9 月
67.	アンボンド鋼管巻き中実杭の載荷実験 その 2 実験結果	◎宮原清, 渡辺臣, 向井智久, 平出務, 中村聡宏, 渡邊秀和, 小原拓, 平尾一樹, 木谷好伸, 浅井陽一, 松田竜	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.594-595	R3 年 9 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
68.	耐力壁の新設開口設置に伴う補強に用いるあと施工アンカーの引張耐力の算定手法	◎高橋良輔, 向井智久, 中村聡宏, 有木克良, 南部禎士, 岡部喜裕, 高光宏明, 衣笠秀行	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.83-84	R3年 9月
69.	注入方式あと施工アンカーの施工品質確認のための検査方法の検証	◎加賀敏明, 三輪秀雄, 高鍋雅則, 有木克良, 中村聡宏, 向井智久	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.113-114	R3年 9月
70.	既存擁壁背面地盤の補強工法の開発に向けた補強効果の検証実験 (その1. 実験概要)	◎川崎淳志(ミサワホーム), 佐々木修平(住友林業), 小川正宏(報国エンジニアリング), 高田徹(設計室ソイル), 真島正人(設計室ソイル), 平出務	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 I, pp.607-608	R3年 9月
71.	既存擁壁背面地盤の補強工法の開発に向けた補強効果の検証実験 (その2. 実験結果)	◎執行晃(報国エンジニアリング), 小川正宏(報国エンジニアリング), 川崎淳志(ミサワホーム), 高田徹(設計室ソイル), 真島正人(設計室ソイル), 平出務	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 I, pp.609-610	R3年 9月
72.	既存擁壁背面地盤の補強工法の開発に向けた補強効果の検証実験 (その3. 画像解析)	◎黒柳信之(報国エンジニアリング), 小川正宏(報国エンジニアリング), 川崎淳志(ミサワホーム), 執行晃(報国エンジニアリング), 高田徹(設計室ソイル), 平出務	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 I, pp.611-612	R3年 9月
73.	既存擁壁背面地盤の補強工法の開発に向けた補強効果の検証実験 (その4. FEM 解析)	◎小川正宏(報国エンジニアリング), 川崎淳志(ミサワホーム), 平出務, 真島正人(設計室ソイル), 執行晃(報国エンジニアリング), 黒柳信之(報国エンジニアリング)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 I, pp.613-614	R3年 9月
74.	ボルト 支圧接合梁継手のすべり挙動に伴う平面骨組の変形性状 その1 理論・数値解析による検討と各種パラメータの影響	◎洪将, 桑原進, 藤原美由紀, 佐々木良介(大阪大), 長谷川隆	日本建築学会 近畿支部研究報告集	日本建築学会	2118	R3年 6月
75.	ボルト支圧接合梁継手のすべり挙動に伴う平面骨組の変形性状 その2 層間変形角の簡略化推定法	◎藤原美由紀, 桑原進, 洪将, 佐々木良介(大阪大), 長谷川隆	日本建築学会 近畿支部研究報告集	日本建築学会	2119	R3年 6月
76.	普通ボルトを用いたブレース構造の研究 その5 溝形鋼・CT形鋼の有効断面破断耐力	◎裴 舜, 平本佳祐, 黒澤未来, 巽信彦, 吉敷祥一(東工大), 長谷川隆	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造III, pp.1019-1020	R3年 9月
77.	普通ボルトを用いたブレース構造の研究 その6 ブレース架構実験の計画	◎黒澤未来, 平本佳祐, 裴 舜, 巽信彦, 吉敷祥一(東工大), 長谷川隆	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造III, pp.1021-1022	R3年 9月
78.	普通ボルトを用いたブレース構造の研究 その7 ブレース架構実験の結果	◎平本佳祐, 黒澤未来, 裴 舜, 巽信彦, 吉敷祥一(東工大), 長谷川隆	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造III, pp.1023-1024	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
79.	変動変位振幅を受ける角形 CFT 柱の構造性能に関する研究 その 1 実験概要およびト水平力-部材角関係	◎薄 拓己,城戸 将江,久島 俊也(北九州市立大), <u>長谷川 隆</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1275-1276	R3 年 9 月
80.	変動変位振幅を受ける角形 CFT 柱の構造性能に関する研究 その 2 耐力劣化挙動	◎久島 俊也,城戸 将江,薄 拓己(北九州市立大), <u>長谷川 隆</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1277-1278	R3 年 9 月
81.	多数回繰り返し荷重下の鉄骨柱部材の変形能力評価法に関する検討 その 3 Miner 則の適用性検討	◎澤本 佳和,上瀧 敬太,福元 敏之(鹿島技研), <u>長谷川 隆</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.847-848	R3 年 9 月
82.	変動軸力を受ける角形 CFT 柱部材の繰り返し性状に関する実験的研究	◎上瀧 敬太,澤本 佳和,福元 敏之(鹿島技研), <u>長谷川 隆</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.847-848	R3 年 9 月
83.	普通ボルトを月用いた梁継手の力学性状 その 3 床スラブによるすべり拘束効果	◎大場 稜平,中野 達也(宇都宮大), <u>長谷川 隆</u> ,石原 直(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.953-954	R3 年 9 月
84.	ボルトト支圧接合梁継手のすべり挙動に伴う平面骨組の変形性状 その 1 理論・数値解析による検討	◎洪将,桑原進,藤原美由紀,佐々木良介(大阪大), <u>長谷川隆</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1129-1130	R3 年 9 月
85.	ボルトト支圧接合梁継手のすべり挙動に伴う平面骨組の変形性状 その 2 骨組の各種変数の影響	◎佐々木良介,桑原進,藤原美由紀,洪将(大阪大), <u>長谷川隆</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1131-1132	R3 年 9 月
86.	ボルトト支圧接合梁継手のすべり挙動に伴う平面骨組の変形性状 その 3 層間変形角の簡略化推定法	◎藤原美由紀,桑原進,洪将,佐々木良介(大阪大), <u>長谷川隆</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1133-1134	R3 年 9 月
87.	長周期地震動に対する超高層鉄骨造建築物の損傷評価 その 3 部材劣化開始から倒壊までの余裕度確保	◎鈴木芳隆,安本宏(小堀研), <u>長谷川隆</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1167-1168	R3 年 9 月
88.	地震時における鉄骨造骨組の梁端部の損傷評価に関する振動台実験その 1 実験計画と荷重変形関係	◎伊山 潤(東大),廣嶋哲(日本製鉄), <u>長谷川隆</u> ,森田 高市,中川 博人	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1185-1186	R3 年 9 月
89.	地震時における鉄骨造骨組の梁端部の損傷評価に関する振動台実験その 2 損傷経過と疲労性能評価	◎廣嶋 哲(日本製鉄), <u>長谷川隆</u> ,森田 高市,中川博人,伊山 潤(東大),岩田 善裕,沖 佑典	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1187-1188	R3 年 9 月
90.	地震時における鉄骨造骨組の梁端部の損傷評価に関する振動台実験その 3 加速度の積分による損傷の推定	◎ <u>長谷川隆</u> ,中川 博人,森田 高市,廣嶋 哲(日本製鉄)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1189-1190	R3 年 9 月
91.	地震時における鉄骨造骨組の梁端部の損傷評価に関する振動台実験 その 4 破断および局部座屈の進展と微動応答ひずみ振幅の関係	◎孫 凱楽,福島 佳浩,伊山 潤(東大), <u>長谷川隆</u> ,廣嶋 哲(日本製鉄)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1191-1192	R3 年 9 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
92.	Low Cycle Fatigue Performance of SHS Columns Subjected to Small Amplitude Loading Part 1 Test plan and summary of test results	Takanori Ishida (横国大), Yang Dong, Kazumasa Mogi, Shoichi Kishiki (東工大), Satoshi Yamada (東大), <u>Takashi Hasegawa</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.823-824	R3年 9月
93.	Low Cycle Fatigue Performance of SHS Columns Subjected to Small Amplitude Loading Part2 Investigation on lowcycle fatigue life	Kazumasa Mogi, Yang Dong (東工大), Takanori Ishida (横国大), Shoichi Kishiki (東工大), Satoshi Yamada (東大), <u>Takashi Hasegawa</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.825-826	R3年 9月
94.	Low Cycle Fatigue Performance of SHS Columns Subjected to Small Amplitude Loading Part 3 Investigation on strength deterioration	Yang Dong (東工大), Takanori Ishida (横国大), Kazumasa Mogi, Shoichi Kishiki (東工大), Satoshi Yamada (東大), <u>Takashi Hasegawa</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.827-828	R3年 9月
95.	近年の強風被害を踏まえた建築基準法の告示改正	◎高館祐貴, 喜々津仁密, 奥田泰雄	2021年度年次研究 発表会梗概集	日本風工学会	第46巻, 第2号 (通算167号), pp.143-144	R3年 4月
96.	令和元年房総半島台風による瓦屋根の被害調査を踏まえた建築基準法の告示改正	◎高館祐貴, 喜々津仁密, 奥田泰雄	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅰ, pp.79-80	R3年 9月
97.	スギ5層5プライCLTパネルの面内せん断性能における強軸方向鉛直荷重の影響	◎岡部実, 中島昌一, 五十田博, 森拓郎, 三宅辰哉	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.35-36	R3年 7月
98.	枠組壁工法における鉛直荷重を加えためり込み補強金物を用いた実大耐力壁試験	◎鈴木涼太, 中島昌一, 荒木康弘	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅱ, pp.131-132	R3年 7月
99.	CLT壁脚部における鋼板挿入ドリフトピン接合部の引張実験	◎太田真貴, 中島昌一, 松田昌洋, 五十田博・荒木康弘	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.103-134	R3年 7月
100.	鉄骨梁降伏型のCLT-S混構造架構の繰り返し載荷実験	◎三木徳人, 中島昌一, 石原直	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ pp.139-140	R3年 7月
101.	鉄骨梁ハイブリッドCLTパネル工法に関する研究 その1 実大静加力実験	◎角田功太郎, 荒木康弘, 中島昌一, 谷口翼, 五十田博	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅱ, pp.233-234	R3年 7月
102.	鉄骨梁ハイブリッドCLTパネル工法に関する研究 その2 接合部実験および材料実験	◎荒木康弘, 難波宗功, 古澤知也, 中島昌一, 谷口翼, 五十田博	日本建築学 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ pp.235-236	R3年 7月



No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
103.	鉄骨梁ハイブリッド CLT パネル工法に関する研究 その3 接合部実験の最大耐力と降伏耐力の計算値と実験値の比較	◎中島昌一, 荒木康弘, 古澤知也, 難波宗功, 谷口翼, 五十田博	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.237-238	R3 年 7 月
104.	CLT 壁勝ち工法と床勝ち工法の実大 3 層静加力実験 その4 CLT 壁勝ち工法解析結果と実験結果の比較	◎張曉蘭, 中川貴文, 荒木康弘, 中島昌一, 五十田博	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.297-298	R3 年 7 月
105.	木質構造用ねじの JIS 原案作成に伴う試験方法に関する検討 その4 引張強さ及びねじり強さ試験の検証試験と策定した試験方法	◎早崎洋一, 小森谷誠, 中里匡陽, 芝本和治, 萱野雅樹, 中島昌一, 小林研治, 那須秀行, 稲山正弘	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.375-376	R3 年 7 月
106.	CLT パネル工法の構造設計法拡充・合理化に関する検討 その31 無開口とみなし得る小開口(ルート1)	◎佐藤基志, 中島史郎, 榎本敬大, 中島昌一, 荒木康弘, 車田慎介	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.487-488	R3 年 7 月
107.	CLT パネル工法の解析モデル簡略化・高さ方向拡充に関する検討 その1 モデル簡略化方針と接合部の簡易モデル	◎佐藤滯, 五十田博, 前田匡樹, 荒木康弘, 中島昌一, 三宅辰哉, 飯島敏夫, 鈴木圭, 篠原昌寿	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.495-496	R3 年 7 月
108.	CLT パネル工法の解析モデル簡略化・高さ方向拡充に関する検討 その2 2 次元モデル及び3 次元モデルによる検証	◎貴志拓哉, 五十田博, 前田匡樹, 荒木康弘, 中島昌一, 飯島敏夫, 篠原昌寿, 佐藤滯	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.497-498	R3 年 7 月
109.	CLT パネル工法の解析モデル簡略化・高さ方向拡充に関する検討 その3 4 ~6 層建物の構造特性係数 Ds 及び応力割増し係数 Rf の検討	◎福田海里, 五十田博, 荒木康弘, 中島昌一, 飯島敏夫, 野田卓見, 篠原昌寿	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.499-500	R3 年 7 月
110.	東アジアの伝統木造建築に見られる柔構造メカニズムの解明 その2 ストレインゲージによる部材応力の実測と評価結果の予備的考察	◎小松幸平, 北守顕久, 中川貴文, 中島昌一, 五十田博	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.545-546	R3 年 7 月
111.	筋かいと構造用合板を併用した木造耐力壁の復元力特性に関する研究	◎江口直希, 汐満将史, 中島昌一	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.601-602	R3 年 7 月
112.	枠組壁工法による有開口耐力壁の降伏耐力の簡易算定法	◎丸山理香子, 中島史郎, 中島昌一, 荒木康弘	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.613-614	R3 年 7 月
113.	軸組構法に面材として CLT パネルを用いた真壁耐力壁の開発 その1 ビスの一面せん断試験	◎山田知明, 鈴木圭, 後藤隆洋, 野田卓見, 谷口翼, 中島昌一, 小林研治, 五十田博	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III pp.627-628	R3 年 7 月
114.	ULTIMATE LOAD WITH SHEAR FAILURE OF CLT DRIFT PINNED CONNECTION	◎Shoichi Nakashima, Norihito Miki, Nobuhiko Akiyama, Yasuhiro Akiyama	Proceedings of World Conference on Timber Engineering 2021	WCTE COMMITTEE	pp. 1046- 1051	R3 年 8 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
115.	杭頭局所変形を生じる鋼管杭・上部構造物－液状化地盤系の遠心載荷実験その1 遠心載荷実験試験体の概要	◎古川秀(東北大), 的場萌子, 木村祥裕(東北大), 濱田純次(竹中技研), 奥村豪悠(竹中技研), 安達夏紀(竹中技研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 I, pp. 467-468	R3 年 9 月
116.	杭頭局所変形を生じる鋼管杭・上部構造物－液状化地盤系の遠心載荷実験その2 液状化地盤における鋼管杭の終局メカニズム	◎的場萌子, 古川秀(東北大), 木村祥裕(東北大), 濱田純次(竹中技研), 奥村豪悠(竹中技研), 安達夏紀(竹中技研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 I, pp. 469-470	R3 年 9 月
117.	BESTest for Integrated Outdoor-Indoor Energy Balance Modelling	Mohammed Bakkali, <u>Yasunobu Aashie</u>	Intelligent Environments 2021	IOS Press.	Vol.29, pp. 128-137	R3 年 6 月
118.	家庭用蓄電池の性能把握実験 Part 2	◎桑沢保夫, 峰野悟(建築環境ソリューションズ)	空気調和・衛生工 学会 学術講演論 文集	空気調和・衛生工 学会	都市・環境 p.77-80	R3 年 9 月
119.	家庭用自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機の昼間運転時の特性検証(2)	◎桑沢保夫, 峰野悟(建築環境ソリューションズ)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	環境工学, pp.2007- 2008	R3 年 9 月
120.	全熱交換器による空調省エネの実環境評価	◎伊藤慎一(三菱電機), <u>桑沢保夫</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	環境工学, pp.745-756	R3 年 9 月
121.	通気層を有する壁体の熱的性能の評価方法に関する研究(第一報)研究背景と精緻な計算方法	◎辻丸のりえ(佐藤エネルギーリサーチ), <u>三浦尚志</u> , 佐藤誠(佐藤エネルギーリサーチ)	空気調和・衛生工 学会大会	空気調和・衛生工 学会	熱負荷・外皮 性能・シミュレ ーション pp.161-164	R3 年 9 月
122.	通気層を有する壁体の熱的性能評価方法に関する研究(第二報)簡易計算法の提案	◎ <u>三浦尚志</u> , 辻丸のりえ(佐藤エネルギーリサーチ), 佐藤誠(佐藤エネルギーリサーチ)	空気調和・衛生工 学会大会	空気調和・衛生工 学会	熱負荷・外皮 性能・シミュレ ーション pp.165-168	R3 年 9 月
123.	非住宅建築物における開口部と空調・照明の一体的な省エネ性能評価に関する研究その1 研究の全体像と日照・日射制御技術の考え方の検討	◎三木保弘(国総研), 宮田征門(国総研), 山口秀樹(国総研), 西澤繁毅, 赤嶺嘉彦, 堀慶朗(YKK AP), 齊藤孝一郎(YKK AP), 池谷風雅(YKK AP), 佐藤誠(佐藤エネルギーリサーチ)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	環境工学 pp.1653- 1654	R3 年 9 月
124.	非住宅建築物における開口部と空調・照明の一体的な省エネ性能評価に関する研究 その2 日照・日射制御技術の採用状況に関するアンケート調査	◎佐藤誠(佐藤エネルギーリサーチ), 三木保弘(国総研), 宮田征門(国総研), 山口秀樹(国総研), 西澤繁毅, 赤嶺嘉彦, 堀慶朗(YKK AP), 谷口景一郎(東大), 吉澤望(東京理科大), 井上隆(東京理科大名誉教授)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	環境工学 pp.1655- 1656	R3 年 9 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
125.	非住宅建築物における開口部と空調・照明の一体的な省エネ性能評価に関する研究 その3	◎山田拓馬(東京理科大),高瀬幸三(東京理科大),牧野健人(東京理科大),齊藤孝一郎(YKK AP),佐藤誠(佐藤エネルギーリサーチ), <u>赤嶺嘉彦</u> ,西澤繁毅,谷口景一郎(東大),宮田征門(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	環境工学 pp.1657-1658	R3年 9月
126.	非住宅建築物における開口部と空調・照明の一体的な省エネ性能評価に関する研究 その4	◎牧野健人(東京理科大),高瀬幸三(東京理科大),山田拓馬(東京理科大),齊藤孝一郎(YKK AP),佐藤誠(佐藤エネルギーリサーチ), <u>赤嶺嘉彦</u> ,西澤繁毅,谷口景一郎(東大),宮田征門(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	環境工学 pp.1659-1660	R3年 9月
127.	非住宅建築物における開口部と空調・照明の一体的なエネルギー消費性能評価法に関する研究 ー日照・日射制御技術の採用状況と設計段階昼光 シミュレーションの実態調査ー	◎佐藤誠(佐藤エネルギーリサーチ),三木保弘(国総研),宮田征門(国総研),山口秀樹(国総研), <u>西澤繁毅</u> , <u>赤嶺嘉彦</u> ,堀慶朗(YKK AP),谷口景一郎(東大),吉澤望(東京理科大),井上隆(東京理科大名誉教授)	空気調和・衛生工 学会大会	空気調和・衛生工 学会	熱負荷・外皮 性能・シミュ レーション pp.33-36	R3年 9月
128.	非住宅建築物における開口部と空調・照明の一体的なエネルギー消費性能評価法に関する研究 庇・ライトシェルフを対象とした実験・シミュレーションによる日射遮蔽性能評価	◎山田拓馬(東京理科大),高瀬幸三(東京理科大),牧野健人(東京理科大),齊藤孝一郎(YKK AP),佐藤誠(佐藤エネルギーリサーチ), <u>赤嶺嘉彦</u> , <u>西澤繁毅</u> ,谷口景一郎(東大),宮田征門(国総研)	空気調和・衛生工 学会大会	空気調和・衛生工 学会	熱負荷・外皮 性能・シミュ レーション pp.37-40	R3年 9月
129.	非住宅建築物における室内温熱環境を踏まえた空調エネルギー消費量評価手法に関する検討	◎湯澤秀樹(日建設計総合研究所),木俣孝裕(日建設計総合研究所),近藤武士(日建設計総合研究所),落合奈津子(日建設計総合研究所),今野雅(OCAEL), <u>赤嶺嘉彦</u> ,宮島賢一(建築環境ソリューションズ)	空気調和・衛生工 学会大会	空気調和・衛生工 学会	熱負荷・外皮 性能・シミュ レーション pp.49-52	R3年 9月
130.	ビル空調・熱源システムの変風量・変流量制御による省エネ効果の評価方法に関する研究 第7報 実証実験装置の気密性・送風機特性および試運転調整後の風量バランスの特性把握	◎森萌(東京電機大),射場本忠彦(東京電機大),百田真史(東京電機大),澤地孝男, <u>赤嶺嘉彦</u> ,松下信行(東洋熱工業),南雲祐輝(ベターリビング)	空気調和・衛生工 学会大会	空気調和・衛生工 学会	空調システム pp.121-124	R3年 9月
131.	平成30年住生活総合調査における遮音性能に関する一考察	◎平川 侑,平光厚雄	建築音響研究会	日本音響学会	資料番号 AA2022-01	R4年 1月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
132.	Using Inverse Transient Statistical Energy Analysis to determine the transient power input from a heavy impact on floating floors	◎Susumu Hirakawa Carl Hopkins	Inter-noise 2021	I-INCE (International Institute of Noise Control Engineering)	pp.1945-2948	R3年 8月
133.	Effect of ceiling and drytype double floor on heavy-weight floor impact sound in concrete building and CLT building.	◎Yamauchi Takashi, Hiramitsu Atsuo, <u>Hirakawa Susumu</u>	Inter-noise 2021	I-INCE (International Institute of Noise Control Engineering)	pp.2949-3943	R3年 8月
134.	Effect of different types of ceilings on floor impact sound insulation performance in CLT model building	◎Hiramitsu Atsuo, <u>Hirakawa Susumu</u> , <u>Tsuchimoto Takahiro</u> , Yamauchi Takashi,	Inter-noise 2021	I-INCE (International Institute of Noise Control Engineering)	pp.3944-4918	R3年 8月
135.	コンクリートを打設した CLT床の床衝撃音遮断性能	平光厚雄, <u>平川侑</u>	日本音響学会 2022 年春季研究発表会	日本音響学会	pp.531-534	R4年 3月
136.	在宅勤務の普及による住宅内の行動変容とエネルギー消費に関する実態調査—中間期および夏期の分析—	◎ <u>上野貴広</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	環境工学, pp.1193-1194	R3年 9月
137.	With COVID-19のオフィスの室内環境実測および空調設備・維持管理の実態調査	◎浅岡凌(東工大), 海塩渉(東工大), 鍵直樹(東工大), 林基哉(北大), 澤地孝男(日本建築センター), <u>上野貴広</u>	空気調和・衛生工学会大会	空気調和・衛生工学会	性能検証・実態調査, pp. 61-64	R3年 9月
138.	1時間を超える準耐火性能を有する屋根の軒裏の開発 その1 被覆型軒裏の検討	◎ <u>成瀬友宏</u> , 鈴木淳一(国総研), 長岡勉, 小林道和, 花井厚周(竹中工務店)	日本建築学会 北海道支部 研究報告集	日本建築学会 北海道支部	pp.13-16	R3年 6月
139.	120分間超の準耐火性能を有する木質系部材の開発	◎鈴木淳一(国総研), 長岡勉, 花井厚周(竹中工務店), <u>成瀬友宏</u> , 小林道和(竹中工務店)	日本建築学会 北海道支部 研究報告集	日本建築学会 北海道支部	pp.17-22	R3年 6月
140.	45分間の遮炎性を有する木製ガラス片引き戸の開発	◎安井昇(桜設計集団), <u>成瀬友宏</u> , 鈴木淳一(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.153-154	R3年 9月
141.	難燃薬剤処理 LVL を被覆材とした耐火構造の検討 (その10) 1時間耐火構造の木造大断面梁	◎成田敏基(LVL協会), 安井昇(桜設計集団), 藤田和彦, 小宮祐人(日総研), 鈴木淳一(国総研), 亀岡祐史, <u>成瀬友宏</u> , 李元羽(LVL協会)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.261-262	R3年 9月
142.	1時間超の準耐火性能を有する被覆型木梁の検討	◎ <u>成瀬友宏</u> , 鈴木淳一(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.273-274	R3年 9月
143.	NLTによる準耐火構造部材の開発(その4 NLT床板・壁接合部加熱試験)	◎橋本由樹, 宮林正幸(ティーイーコンサル), <u>成瀬友宏</u> , 泉潤一(三井ホーム), 鈴木淳一(国総研), 鈴木涼太	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.275-276	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
144.	90分準耐火性能を有する木現し柱梁 接合部の開発 (その4)SRC接合の載 荷加熱実験	◎長岡 勉,花井 厚周(竹中工務 店),鈴木 淳一(国総研),小林 道和 (竹中クム店), <u>成瀬友宏</u> , <u>鍵屋 浩司</u> (東北工業大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.279-280	R3年 9月
145.	120分準耐火性能を有する木現し柱梁 接合部の開発 荷加熱実験	◎小林 道和,長岡 勉,花井 厚周(竹 中工務店),鈴木 淳一(国総研), <u>成 瀬友宏</u> , <u>鍵屋 浩司</u> (東北工業大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.281-282	R3年 9月
146.	木質混構造建築物の接合部の耐火性 能に関する研究 その1 床 CLT パネ ルと鋼梁接合部の加熱実験	◎鈴木 淳一(国総研),安部 まどか (東理大),水上 点晴(国総研), <u>成瀬 友宏</u> ,王 兪翔(東理大), <u>野秋 政希</u> , 荒木 康弘(国総研),大宮 喜文(東 理大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.301-302	R3年 9月
147.	木質混構造建築物の接合部の耐火性 能に関する研究 その2 数値解析によ る部材温度の推定	◎安部 まどか(東理大),鈴木 淳一, 水上 点晴(国総研), <u>成瀬 友宏</u> ,王 兪翔(東理大), <u>野秋 政希</u> , 荒木 康 弘(国総研),大宮 喜文(東理大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.303-304	R3年 9月
148.	平成30年建築基準法改正 特定避難 時倒壊防止構造,延焼防止建築物につ いて(法第27条,法第61条を中心に)	◎ <u>成瀬 友宏</u> ,鈴木 淳一(国総研)	動画プログラム	建築技術教育普 及センター	建築技術教 育普及センタ ーHPに掲載	R3年 10月
149.	1時間を超える準耐火性能を有する屋 根の軒裏の開発 その2 面戸型軒裏の 検討	◎ <u>成瀬友宏</u> ,鈴木淳一(国総研),長 岡 勉,小林道和,花井厚周(竹中工 務店)	日本建築仕上学会 学術講演会	日本建築仕上学 会	pp.137-140	R3年 10月
150.	グラスウール充填窯業系サイディング鉄 骨造外壁の防火性能	◎鈴木淳一(国総研), <u>成瀬友宏</u> , <u>金 澤光明</u> (NYG)	日本建築仕上学会 学術講演会	日本建築仕上学 会	pp.145-148	R3年 10月
151.	長時間の遮炎性能を有する防火設備の 開発	◎鈴木淳一(国総研), <u>成瀬友宏</u> ,高 橋 済(アイエヌジー),松山 賢(東理 大)	日本建築仕上学会 学術講演会	日本建築仕上学 会	pp.149-152	R3年 10月
152.	Fire Behavior of Fireretardant-treated Wooden Facades: Comparison of Deterioration Caused by Accelerated Weathering and Natural Exposure in Japan	◎Hideki Yoshioka, Yuhei Nishio(東大), Manabu Kanematsu(東理大), Takafumi Noguchi(東大), Tetsuya Hayakawa(TSV), <u>Xuansu Zhao</u>	Proceedings of the 12th AsiaOceania Symposium on Fire Science and Technology	AOSFST	DOI:10.14264 /01fff42	R3年 12月
153.	溶断火花の飛散による断熱材及び保護 シートの着火に関する実験的研究	◎吉岡英樹, <u>野口貴文</u> (東大), <u>趙玄 素</u> , <u>田村政道</u> (東大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.13-14	R3年 9月
154.	Experimental Study on Spread of Ceiling Jet Affected by AirConditioning Flow in Early Stage of Fire	◎Daisaku Nii, Kousuke Fujimoto, Kazunori Harada(京大), Koji Kagiya(東北工大), <u>Yoshikazu Deguchi</u>	Proceedings of the 12th AsiaOceania Symposium on Fire Science and Technology	AOSFST2021	DOI:10.14264 /e1abe49	R3年 12月
155.	火災実験における温度を用いたCO2 濃度の鉛直分布の推定手法に係る実 験的研究	◎岸上昌史,山口純一(大林), <u>出口 嘉二</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.43-44	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
156.	火災初期の天井流に対する空調吹き出し気流の干渉範囲の推定	◎仁井大策,原田和典(京大), <u>出口嘉一</u> ,鍵屋浩司(東北工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.47-48	R3年 9月
157.	階層ベイズモデルを用いた火災成長率 $\alpha$ の分布の推定	◎ <u>出口嘉一</u> ,榎本圭佑(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.103-104	R3年 9月
158.	木製ルーバーを設置した室内の火災拡大性状に関する実大規模実験	渡辺亮(東理大), <u>野秋政希</u> ,大宮喜文(東理大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.33-34	R3年 9月
159.	上向き型散水設備による天井の木製内装材の燃焼抑制効果に関する実験	◎ <u>野秋政希</u> ,鈴木淳一(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.135-136	R3年 9月
160.	上向き型散水による天井木製内装材の燃え拡がり抑制	◎ <u>野秋政希</u> ,鈴木淳一(国総研)	日本火災学会研究 発表会	日本火災学会	pp.44-45	R3年 5月
161.	区画の周壁の材質が火災時の区画内温度性状に及ぼす影響	◎ <u>野秋政希</u> ,鈴木淳一(国総研)	日本建築工上学会 学術講演会	日本建築工上学会	pp.141-144	R3年 10月
162.	ガス有害性試験における動物使用の見直しに向けて - FTIRを用いた際に信頼性の高いデータを得る実験手法について -	◎ <u>趙玄素</u> ,吉岡英樹,福田泰孝(BL)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.7-8	R3年 9月
163.	Experimental study on relationship between behavioral incapacitation time of mice and concentration of gases generated during toxicity test	◎ <u>Xuansu Zhao</u> , Hideki Yoshioka	Proceedings of the 12th AsiaOceania Symposium on Fire Science and Technology	AOSFST	DOI:10.14264 /c211b93	R3年 12月
164.	地震火災時におけるリアルタイム避難誘導情報伝達のためのプロトタイプシステムの開発	◎ <u>鈴木雄太</u> ,糸井川栄一(筑波大)	地域安全学会講演 会	地域安全学会	pp.179-182	R3年 5月
165.	マンションの老朽化認定に関する検討その1 評価方法基準(案)	◎ <u>鹿毛忠継</u> ,土屋直子(国総研),三島直生(国総研),松沢晃一,中田清史(客員),棚野博之,阿部道彦,彦坂信之(建築研究振興協会),井川倫宏(八洋コンサルタント),横山博(八洋コンサルタント)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1087- 1088	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
166.	マンションの老朽化認定に関する検討 その2 目視による評価	◎彦坂信之(建築研究振興協会), 土屋直子(国総研), 三島直生(国総研), 鹿毛忠継, 松沢晃一, 中田清史(客員), 棚野博之, 阿部道彦, 井川倫宏(八洋コンサルタント), 横山博(八洋コンサルタント)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1089- 1090	R3年 9月
167.	建築用外装仕上材の中性化抑制効果 の評価方法および評価基準に関する 研究 その1 建築用仕上塗材の二酸化 炭素透過度試験	◎則竹慎也(日本建築仕上材工業会), 本橋健司(建築研究振興協会), 濱崎仁(芝浦工大), 越中谷光太郎(日本建築仕上材工業会), 田村昌隆(日本建築仕上材工業会), 井上照郷(日本建築仕上材工業会), 鹿毛忠継, 松沢晃一, 中田清史(客員), 土屋直子(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.185-186	R3年 9月
168.	建築用外装仕上材の中性化抑制効果 の評価方法および評価基準に関する 研究 その2 促進耐候性試験後の建築 用仕上塗材の二酸化炭素透過度	◎本橋健司(建築研究振興協会), 濱崎仁(芝浦工大), 越中谷光太郎(日本建築仕上材工業会), 則竹慎也(日本建築仕上材工業会), 田村昌隆(日本建築仕上材工業会), 井上照郷(日本建築仕上材工業会), 鹿毛忠継, 松沢晃一, 中田清史(客員), 土屋直子(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.187-189	R3年 9月
169.	再生粗骨材 M を使用したコンクリートを 建築構造物で活用するための検討(そ の1・骨材の物性)	◎棚野博之, 松沢晃一, 佐藤幸恵 (東京都市大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.347-348	R3年 9月
170.	再生粗骨材 M を使用したコンクリートを 建築構造物で活用するための検討(そ の2・コンクリート特性)	棚野博之, ◎川田直輝(東京都市 大), 佐藤幸恵(東京都市大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.349-350	R3年 9月
171.	EVALUATION OF DAMAGE TO WOOD HOUSES AT 2016 KUMAMOTO EARTHQUAKE IN COMPARISON TO RECENT EARTHQUAKE IN JAPAN	◎Takahiro Tsuchimoto	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.1g-0016	R3年 9月
172.	合せ梁・通し柱集成材フレームと面材 張り耐力壁を用いた8階建て集合住宅 の試設計 その1 構造計画と増分解 析による保有水平耐力計算	◎岡崎友也(日本システム設計), 榎本敬大, 三宅辰哉(日本システム 設計), 櫻井郁子(日本システム設 計), 小松弘昭(三井ホーム), 鈴木 涼太(三井ホーム)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造III, pp. 145-146	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
173.	合せ梁・通し柱集成材フレームと面材張り耐力壁を用いた8階建て集合住宅の試設計 その2 接合部要素実験	◎小松弘昭(三井ホーム),鈴木涼太(三井ホーム), <u>榎本敬大</u> ,三宅辰哉(日本システム設計),岡崎友也(日本システム設計)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.147-148	R3年 9月
174.	木質接着パネルを用いた2方向ラーメン構造による高層木造建築物の開発その8 構造概要及び地震力算定用重量等	◎梶川久光(明治大),三津橋歩(ミサワホーム総合研究所),小川春彦(ミサワホーム総合研究所),大木洋一郎(ミサワホーム総合研究所), <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.149-150	R3年 9月
175.	木質接着パネルを用いた2方向ラーメン構造による高層木造建築物の開発その9 水平材接合部の水平加力実験	◎大木洋一郎(ミサワホーム総合研究所),梶川久光(明治大学),小川春彦(ミサワホーム総合研究所),三津橋歩(ミサワホーム総合研究所), <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.151-152	R3年 9月
176.	木質接着パネルを用いた2方向ラーメン構造による高層木造建築物の開発その10 鉛直荷重の影響を考慮した木質組立柱の水平加力実験	◎三津橋歩(ミサワホーム総合研究所),小川春彦(ミサワホーム総合研究所),梶川久光(明治大),大木洋一郎(ミサワホーム総合研究所), <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 153-154	R3年 9月
177.	木質接着パネルを用いた2方向ラーメン構造による高層木造建築物の開発その11 ラーメン架構の水平加力実験	◎小川春彦(ミサワホーム総合研究所),梶川久光(明治大),三津橋歩(ミサワホーム総合研究所),大木洋一郎(ミサワホーム総合研究所), <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 155-156	R3年 9月
178.	座屈拘束ブレースを使用した木造軸組メガストラクチャー建築物の開発その1 中大規模木造建築物の試設計	◎南遼太(熊谷組),立花和樹(住友林業),長島泰介(住友林業),前川利雄(熊谷組),野田亜久里(熊谷組),青木浩幸(熊谷組),秋山信彦(国総研), <u>山崎義弘</u> , <u>榎本敬大</u>	日本建築学 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 167-168	R3年 9月
179.	座屈拘束ブレースを使用した木造軸組メガストラクチャー建築物の開発その2 時刻歴応答解析による検討	◎土居龍斗(熊谷組),立花和樹(住友林業),長島泰介(住友林業),前川利雄(熊谷組),服部翼(熊谷組),青木浩幸(熊谷組),秋山信彦(国総研), <u>山崎義弘</u> , <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 169-170	R3年 9月
180.	座屈拘束ブレースを使用した木造軸組メガストラクチャー建築物の開発その3 BRB 単体試験	◎安部総一(住友林業),中島裕貴(住友林業),立花和樹(住友林業),長島泰介(住友林業),前川利雄(熊谷組),野田亜久里(熊谷組),秋山信彦(国総研), <u>山崎義弘</u> , <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 171-172	R3年 9月



No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
181.	座屈拘束プレースを使用した木造軸組 メガストラクチャー建築物の開発その4 フレーム試験	◎南川貴明(住友林業),中島裕貴 (住友林業),立花和樹(住友林 業),長島泰介(住友林業),南遼太 (熊谷組),服部翼(熊谷組),秋山 信彦(国総研), <u>山崎義弘</u> , <u>榎本敬 大</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.173-174	R3年 9月
182.	座屈拘束プレースを使用した木造軸組 メガストラクチャー建築物の開発その5 試験結果と解析の比較	◎立花和樹(住友林業),中島裕貴 (住友林業),長島泰介(住友林 業),土居龍斗(熊谷組),前川利雄 (熊谷組),秋山信彦(国総研), <u>山 崎義弘</u> , <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 175-176	R3年 9月
183.	座屈拘束プレースを使用した木造軸組 メガストラクチャー建築物の開発その6 要素試験のまとめ	◎長島泰介(住友林業),立花和樹 (住友林業),中島裕貴(住友林 業),南遼太(熊谷組),青木浩幸 (熊谷組),秋山信彦(国総研), <u>山 崎義弘</u> , <u>榎本敬大</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 177-178	R3年 9月
184.	垂れ壁および直交壁が CLT 耐力壁の 力学的挙動に及ぼす影響に関する研 究 その1 垂れ壁付きフレーム実験	◎鈴木滉哉(東工大),志水真央 (東工大), <u>山崎義弘</u> , <u>榎本敬大</u> ,秋 山信彦(国総研),坂田弘安(東工 大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.257-258	R3年 9月
185.	垂れ壁および直交壁が CLT 耐力壁の 力学的挙動に及ぼす影響に関する研 究 その2 直交壁付き耐力壁実験	◎小林望(東工大),志水真央(東 工大), <u>山崎義弘</u> , <u>榎本敬大</u> ,秋山信 彦(国総研),坂田弘安(東工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 259-260	R3年 9月
186.	垂れ壁および直交壁が CLT 耐力壁の 力学的挙動に及ぼす影響に関する研 究 その3 簡易モデルによる解析	◎志水真央(東工大), <u>山崎義弘</u> , <u>榎 本敬大</u> ,秋山信彦(国総研),坂田弘 安(東工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.261-262	R3年 9月
187.	鋼板挿入ドリフトピン式集成材ラーメン 構造の耐震設計法に関する研究 その 1 柱脚接合部に関する軸力を考慮した 耐力評価法の提案	◎秋山信彦(国総研), <u>榎本敬大</u> , <u>山 崎義弘</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.399-400	R3年 9月
188.	CLT パネル工法の構造設計法拡充・合 理化に関する検討 その27 集成材梁 勝ち架構の許容水平耐力・水平剛性 (ルート1)	◎田中信司(日本システム設計),三 宅辰哉(日本システム設計),川原重 明(木質環境建築), <u>山崎義弘</u> , <u>榎本 敬大</u> ,河合直人(工学院大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.479-480	R3年 9月
189.	CLT パネル工法の構造設計法拡充・合 理化に関する検討 その31 無開口と みなし得る小開口(ルート1)	◎佐藤基志(日本システム設計),中 島史郎(宇都宮大), <u>榎本敬大</u> ,中島 昌一,荒木康弘(国総研),車田慎介 (銘建工業)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, p 487-488	R3年 9月
190.	高さ13m・軒高9mを超え,16m以下の 木造建築物に必要な構造計算の検証 その1 剛性率の適用について	◎ <u>榎本敬大</u> ,秋山信彦(国総研), <u>山 崎義弘</u> ,山辺豊彦(山辺構造設計事 務所)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 507-508	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
191.	軸組構法に面材として CLT パネルを用いた真壁耐力壁の開発 その3 面内せん断試験の解析的考察	◎野田卓見(構造計画研究所),篠原昌寿(構造計画研究所),鈴木圭(日本住宅・木材技術センター),荒木康弘(国総研),植本敬大,河合直人(工学院大),五十田博(京大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.631-632	R3年 9月
192.	建物の各種点検におけるドローン活用の優位性の検証	◎富沢彰之(建装工業), 宮内博之, 有木克良, 福田真太郎, 田沼毅彦(都市再生機構), 酒井学雄(スカイスコープソリューションズ), 中野谷昌司(マンション計画修繕施工協会), 佐藤聡(アサヒデジタルサービス), 館林匠(建装工業), 兼松学(東京理科)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1061-1062	R3年 9月
193.	コンクリート素地に対するドリル削孔の反力に関する研究	◎古山敏樹(東京理科大), 兼松学(東京理科大), 宮内博之, 二村憲太郎(西武建設)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.149-150	R3年 9月
194.	建築における鉄部高耐久性水性塗装仕様の検証 その3 促進耐候性試験結果	◎大澤隆英(日本塗料工業会), 本橋健司(芝浦工大), 古賀純子(芝浦工大), 宮内博之, 田村昌隆(ロックペイント)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.815-816	R3年 9月
195.	建築における鉄部高耐久性水性塗装仕様の検証 その4 屋外暴露耐候性試験結果	◎田村昌隆(ロックペイント), 本橋健司(芝浦工大), 古賀純子(芝浦工大), 宮内博之, 大澤隆英(日本塗料工業会)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.817-818	R3年 9月
196.	シーリング材による石目地汚染の評価・予測方法に関する研究 その3 屋内暴露 10 年後の試験結果と促進試験結果および可塑剤浸透試験結果との関係	◎添田智美(フジタ), 伊藤彰彦(日本シーリング材工業会), 山田人司(フーランス), 宮内博之	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.871-872	R3年 9月
197.	紫外線と目地ムーブメントの同時複合劣化環境下におけるシーリング材の劣化評価 その2 目地変形量に対するシーリング材の損傷状態の観察結果	◎三浦尚文(オート化学工業), 宮内博之	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.879-880	R3年 9月
198.	ドローンによる建物点検調査を支援する MR 技術の開発 その2 Visual SLAM によるドローンの自己位置推定精度の検証	◎井戸田和也(西武建設), 宮内博之, 柏木雄平(エム・ソフト), 二村憲太郎(西武建設)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1067-1068	R3年 9月
199.	屋内狭所空間におけるマイクロドローンの活用と課題に関する調査	◎宮内博之	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1069-1070	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
200.	ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発 その1 全体計画	◎宇田康(日本アビオニクス), 阪上隆英(神戸大), 塩澤大輝(神戸大), 佐藤大輔(コンステック), 北岡弘(日本建築ドローン協会), 奥出稔(日本建築防災協会), 眞方山美穂(国土技術政策総合研究所), 宮内博之, 兼松学(東京理科大), 本橋健司(芝浦工大), 二村憲太郎(日本建築ドローン協会)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1071-1072	R3年 9月
201.	ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発 その2 近接調査用ドローンシステムの開発	◎北岡弘(日本建築ドローン協会), 二村憲太郎(日本建築ドローン協会), 宮内博之, 宇田康(日本アビオニクス), 佐藤大輔(コンステック), 奥出稔(日本建築防災協会), 眞方山美穂(国総研), 阪上隆英(神戸大), 塩澤大輝(神戸大), 兼松学(東京理科大), 本橋健司(芝浦工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1073-1074	R3年 9月
202.	ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発 その3 赤外線装置開発	◎宇田康(日本アビオニクス), 阪上隆英(神戸大), 塩澤大輝(神戸大), 佐藤大輔(コンステック), 北岡弘(日本建築ドローン協会), 奥出稔(日本建築防災協会), 眞方山美穂(国総研), 宮内博之, 兼松学(東京理科大), 本橋健司(芝浦工大), 二村憲太郎(日本建築ドローン協会)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1075-1076	R3年 9月
203.	ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発 その4 赤外線開発機の性能確認実験	◎佐藤大輔(コンステック), 阪上隆英(神戸大), 塩澤大輝(神戸大), 宇田康(日本アビオニクス), 北岡弘(日本建築ドローン協会), 奥出稔(日本建築防災協会), 眞方山美穂(国総研), 兼松学(東京理科大学), 宮内博之, 本橋健司(芝浦工大), 二村憲太郎(日本建築ドローン協会)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1077-1078	R3年 9月
204.	ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発 その5 開発機を用いた実証実験	◎奥出稔(日本建築防災協会), 眞方山美穂(国総研), 宮内博之, 佐藤大輔(コンステック), 塩澤大輝(神戸大), 宇田康(日本アビオニクス), 北岡弘(日本建築ドローン協会), 二村憲太郎(日本建築ドローン協会), 阪上隆英(神戸大), 兼松学(東京理科大), 本橋健司(芝浦工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.1079-1080	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
205.	ドローンを活用したリモートワーク型リアルタイム建物被害状況分析システムの開発	◎倉内智紀, <u>宮内博之</u> , 日比野陽, 二村憲太郎, 酒井学雄, 石井克幸, 楠浩一	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.131-132	R3年 9月
206.	A Study on Survey of Drone Utilization for Fire Safety and Disaster Prevention	◎Nguyen Ha Thu, 大宮喜文, 岩見達也, 田村祐介, <u>宮内博之</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	防火, pp.139-140	R3年 9月
207.	ドローン技術の動向	◎ <u>宮内博之</u>	日本建築学会研究 協議会(ドローン技 術の社会実装に向 けて)	日本建築学会	pp.2-16	R3年 9月
208.	鉄部建築工事における高耐久水系塗料仕様検証 その3 鉄鋼面における促進耐候性試験および屋外暴露耐候性試験結果	◎島岡宏(大日本塗料), 本橋健司(芝浦工大), 古賀純子(芝浦工大), <u>宮内博之</u> , 大澤隆英(日本塗料工業会), 田村昌隆(ロックペイント)	日本建築仕上学会 学術講演会	日本建築仕上学会	pp.41-44	R3年 10月
209.	鉄部建築工事における高耐久水系塗料仕様検証 その4 亜鉛メッキ鋼面におけるサイクル防食性試験結果	◎田村昌隆(ロックペイント), 本橋健司(芝浦工大), 古賀純子(芝浦工大), <u>宮内博之</u> , 大澤隆英(日本塗料工業会), 島岡宏(大日本塗料)	日本建築仕上学会 学術講演会	日本建築仕上学会	pp.45-48	R3年 10月
210.	高意匠建材(窯業系サイディング)改修用塗料に関する研究開発	◎山本唯人(芝浦工大), 田村昌隆(ロックペイント), 榎本孝之(ケイミュ一), <u>宮内博之</u> , 古賀純子(芝浦工大), 本橋健司(芝浦工大)	日本建築仕上学会 学術講演会	日本建築仕上学会	pp.49-52	R3年 10月
211.	屋内狭所空間調査におけるマイクロドローン産業基盤の創成	◎ <u>宮内博之</u> , 二村憲太郎(日本建築ドローン協会)	第23回建築の自動 化技術シンポジウム	日本建築学会	pp.43-48	R4年 2月
212.	石炭ガス化スラグ細骨材を使用したコンクリートの基礎性状 その4 強度発現性状	◎ <u>松沢晃一</u> , 佐藤幸恵(東京都市大), 小山明男(明治大), 三島直生(国総研), 鈴木澄江(工学院大), 齊藤辰弥(建材試験センター)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.37-38	R3年 9月
213.	石炭ガス化スラグ細骨材を使用したコンクリートの基礎性状 その1 全体計画	◎小山明男(明治大), 佐藤幸恵(東京都市大), 齊藤辰弥(建材試験センター), 西祐宜(フローリック), <u>松沢晃一</u> , 三島直生(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.31-32	R3年 9月
214.	石炭ガス化スラグ細骨材を使用したコンクリートの基礎性状 その2 フレッシュコンクリートの性状	◎西祐宜(フローリック), 鈴木澄江(工学院大), 佐藤幸恵(東京都市大), 陣内浩(工芸大), 小山明男(明治大), <u>松沢晃一</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.33-34	R3年 9月
215.	石炭ガス化スラグ細骨材を使用したコンクリートの基礎性状 その3 プリーディング特性	◎三島直生(国総研), 西祐宜(フローリック), 佐藤幸恵(東京都市大), 鈴木澄江(工学院大), 小山明男(明治大学), <u>松沢晃一</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.35-36	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
216.	建築用外装仕上材の中性化抑制効果の評価方法および評価基準に関する研究 その3 促進中性化試験結果および二酸化炭素透過度との関係	◎大賀智史(芝浦工大),濱崎仁(芝浦工大),井出朋孝(長谷工コーポレーション),伊藤駆(芝浦工大),越中谷光太郎(日本建築仕上材工業会),本橋健司(建築研究振興協会),松沢晃一,中田清史,土屋直子(国総研),田山隆文(建築研究振興協会)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.189-190	R3年 9月
217.	建築用外装仕上材の中性化抑制効果の評価方法および評価基準に関する研究 その4 中性化抑制効果に関する評価基準の検討	◎濱崎仁(芝浦工大),本橋健司(建築研究振興協会),古賀純子(芝浦工大),彦坂信之(建築研究振興協会),井上照郷(日本建築仕上材工業会),越中谷光太郎(日本建築仕上材工業会),松沢晃一,鹿毛忠継,中田清史(客員),土屋直子(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.191-192	R3年 9月
218.	ACM センサによるコンクリート内腐食環境評価に関する基礎的研究	◎中田清史(客員),松沢晃一,鹿毛忠継	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.201-202	R3年 9月
219.	接着系あと施工アンカーのクリープ試験装置の小型化に関する実験的検討 その2	◎高橋宗臣(日本ヒルティ),松沢晃一,中田清史(客員),大垣正之(日本建築あと施工アンカー協会),安藤重裕(住友大阪セメント),寺崎慎一(前田工織),小林学(ケー・エフ・シー),鎌田晃輔(日油技研工業),宋昌錫(日本ヒルティ),濱崎仁(芝浦工大),中野克彦(千葉工大),佐藤滉起(建材試験センター)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.99-100	R3年 9月
220.	長尺あと施工アンカーの性能確認試験 その6 FEM 解析による検討	◎中野克彦(千葉工大),酒井裕基(千葉工大),松沢晃一,大垣正之(日本建築あと施工アンカー協会),今井清史(サンコーテクノ),沼田卓也(東京ソイルリサーチ)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.101-102	R3年 9月
221.	長尺あと施工アンカーの性能確認試験 その7 アンボンド区間を設けたあと施工アンカーの塑性域での繰り返し載荷実験 I	◎沼田卓也(東京ソイルリサーチ),中野克彦(千葉工大),松沢晃一,中田清史(客員),内野裕士(内野建設興業),大垣正之(日本建築あと施工アンカー協会),今井清史(サンコーテクノ),早崎洋一(建材試験センター),酒井裕基(千葉工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.103-104	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
222.	長尺あと施工アンカーの性能確認試験 その7 アンボンド区間を設けたあと施工 アンカーの塑性域での繰り返し載荷実 験Ⅱ	◎酒井裕基(千葉工大),中野克彦 (千葉工大),松沢晃一,有木克良,内 野裕士(内野建設興業),大垣正之 (日本建築あと施工アンカー協会), 安藤重裕(住友大阪セメント),今井 清史(サンコーテクノ),沼田卓也(東 京ソイルリサーチ)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅳ, pp.105-106	R3年 9月
223.	RC マンションの鉄筋腐食が広範囲に 進行している蓋然性の目視による判定 手法の開発	◎土屋直子(国総研),三島直生 (国総研),中田清史(客員),松沢晃 一,鹿毛忠継,棚野博之,阿部道彦 (工学院大学)	日本材料学会 第33回信頼性シン ポジウム講演論文集	日本材料学会	pp.116-118	R3年 12月
224.	Study on Fatigue Behavior of Timber Shear Walls Subjected to Repeated Cyclic Loading	<u>Yoshihiro Yamazaki</u> , Kengo Kanda(元東工大), Hiroyasu Sakata(東工大)	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2c-0154	R3年 9月
225.	集成材柱脚部およびCLT壁脚部の力 学的挙動に関する研究 その2 M-N 相 関関係と数値解析	<u>山崎義弘</u> , 溝口比菜(名工大), 松 田和浩(名城大), 秋山信彦(国総 研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.405-406	R3年 9月
226.	両側フランジをラグスクリューで固定し たドッグボーン付き木鋼ハイブリッド柱 梁接合部の変形性能 その2 有限要素 法を用いた標準接合部の変形性能評 価	小室翔吾(東工大), 斉藤瞭(東工 大), 寺澤友貴(東工大), 原田公明 (日建設計), 水谷美和(日建設 計), <u>山崎義弘</u> , 林賢一(日鉄エン ジ), 坂田弘安(東工大), 竹内徹 (東工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1127-1128	R3年 9月
227.	両側フランジをラグスクリューで固定し たドッグボーン付き木鋼ハイブリッド柱 梁接合部の変形性能 その1 提案接合 部の縮小試験体に対する曲げ実験お よび木鋼接合部評価手法の提案	斉藤瞭(東工大), 原田公明(日建 設計), 寺澤友貴(東工大), 水谷美 和(日建設計), 重松瑞樹(日建設 計), <u>山崎義弘</u> , 林賢一(日鉄エン ジ), 坂田弘安(東工大), 竹内徹 (東工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1125-1126	R3年 9月
228.	木造軸組工法住宅の壁における非構 造体の損傷及び継続使用性に関する 実験研究 その1 静的載荷試験の概要 及び力学特性	松田和浩(名城大), 土倉涼輔(東 工大), <u>山崎義弘</u> , 坂田弘安(東工 大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.625-626	R3年 9月
229.	木造軸組工法住宅の壁における非構 造体の損傷及び継続使用性に関する 実験研究 その2 非構造体の損傷観察	土倉涼輔(東工大), 松田和浩(名 城大), <u>山崎義弘</u> , 坂田弘安(東工 大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.623-624	R3年 9月
230.	CLTパネル工法の構造設計法拡充・ 合理化に関する検討 その25 小規模パ ネル架構の許容水平耐力・水平剛性(ル ート1)	嶋村匠悟(日本システム設計), 三 宅辰哉(日本システム設計), <u>山崎 義弘</u> , 荒木康弘(国総研), 五十田 博(京大), 河合直人(工学院大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.475-476	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
231.	集成材柱脚部および CLT 壁脚部の力学的挙動に関する研究 その 1 曲げモーメントと軸力の漸増荷重実験	溝口比菜(名工大), <u>山崎義弘</u> , 松田和浩(名城大), 秋山信彦(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III, pp.403-404	R3 年 9 月
232.	鋼板挿入ドリフトピン式集成材ラーメン構造の耐震設計法に関する研究その 1 柱脚接合部に関する軸力を考慮した耐力評価法の提案	秋山信彦(国総研), <u>榎本敬大</u> , <u>山崎義弘</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III, pp.399-400	R3 年 9 月
233.	繰り返し荷重を受けるモーメント抵抗型集成材接合部の性能劣化挙動に関する実験研究 その 2 回転剛性及び降伏・終局モーメント算定式の妥当性検証	中澤遥(東工大), 清水舜(東工大), <u>山崎義弘</u> , 坂田弘安(東工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III, pp.397-398	R3 年 9 月
234.	繰り返し荷重を受けるモーメント抵抗型集成材接合部の性能劣化挙動に関する実験研究 その 1 接合部曲げ実験及び耐力劣化評価式の適応	清水舜(東工大), 中澤遥(東工大), <u>山崎義弘</u> , 坂田弘安(東工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III, pp.395-396	R3 年 9 月
235.	垂れ壁および直交壁が CLT 耐力壁の力学的挙動に及ぼす影響に関する研究 その 1 垂れ壁付きフレーム実験	鈴木滉哉(東工大), 志水真央(清水建設), <u>山崎義弘</u> , <u>榎本敬大</u> , 秋山信彦(国総研), 坂田弘安(東工大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III, pp.257-258	R3 年 9 月
236.	木造小屋組の風圧力に対する引張耐力特性の検証のためのユニット試験	喜々津仁密(国総研), <u>山崎義弘</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造 III, pp.101-102	R3 年 9 月
237.	バリアフリー効果の見える化手法に関する研究 その6 ～評価ツールで用いる生活行動モデルの作成～	◎ <u>布田健</u> , 徳田良英, 古賀紀江, 白石光昭, 高橋正樹, 吉岡陽介, 小野久美子, 直井英雄	日本インテリア学会 第 33 回大会研究発表梗概集	日本インテリア学会	pp.39-40	R3 年 10 月
238.	バリアフリー効果の見える化手法に関する研究 その7 ～評価ツールで用いる身体活動量と負担感の関係～	◎徳田良英, 古賀紀江, 馬淵大字, 高橋正樹, 吉岡陽介, 小野久美子, 直井英雄, <u>布田健</u>	日本インテリア学会 第 33 回大会研究発表梗概集	日本インテリア学会	pp.41-42	R3 年 10 月
239.	バリアフリー効果の見える化手法に関する研究 その8 ～居住者の生活行動に対する WEB アンケート調査で捉えた身体活動量の傾向～	◎古賀紀江, 徳田良英, 上野弘義, 吉岡陽介, 白石光昭, 小野久美子, 直井英雄, <u>布田健</u>	日本インテリア学会 第 33 回大会研究発表梗概集	日本インテリア学会	pp.43-44	R3 年 10 月
240.	入浴・浴室の安全性に関わる現状と課題 ～浴槽レス浴室のバリアフリーに関する研究 その1～	◎津留崎聖斗, 小野久美子, <u>布田健</u>	日本インテリア学会 第 33 回大会研究発表梗概集	日本インテリア学会	pp.47-48	R3 年 10 月
241.	浴槽レス浴室に必要な性能とその検証方法 ～浴槽レス浴室のバリアフリーに関する研究 その2～	◎小野久美子, 津留崎聖斗, <u>布田健</u>	日本インテリア学会 第 33 回大会研究発表梗概集	日本インテリア学会	pp.49-50	R3 年 10 月
242.	建築物の技術基準への適合確認における電子申請等の技術に関する研究 その 10 電磁的記録による建築確認審査のあり方の検討	◎ <u>武藤正樹</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	情報システム 技術, pp.169-170	R3 年 7 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
243.	公共賃貸住宅に係る維持管理 BIM (Building Information Modeling) の日常点検等を想定した実証実験の実施と検証	◎ <u>片山耕治</u> , 藤本秀一, 高橋暁, <u>武藤正樹</u> , 長谷川洋, 三島直生	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	建築社会システム, pp.45-46	R3 年 7 月
244.	公共賃貸住宅の日常点検のタブレット端末等と BIM を用いた効率化の検討について	◎ <u>片山耕治</u> , 藤本秀一, <u>武藤正樹</u> , 高橋暁	日本建築学会 情報シンポ 2021 講演梗概集	日本建築学会	H62	R3 年 12 月
245.	地方都市における戸建て賃貸住宅の供給に関する研究 愛媛県松山市における立地と居住性に着目した事例調査	◎黒川大樹(広島大), <u>渡邊史郎</u> , 石垣文(広島大), 角倉英明(広島大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	建築計画, pp.323-324	R3 年 9 月
246.	軽量鉄骨下地乾式間仕切り壁の地震時損傷抑制に関する研究 その 25 面内-面外載荷実験(1)	◎吉敷祥一(東工大), 磯田充樹(東工大), <u>沖佑典</u> , 巽信彦(東工大), 石原直(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.957-958	R3 年 7 月
247.	軽量鉄骨下地乾式間仕切り壁の地震時損傷抑制に関する研究 その 26 面内-面外載荷実験(2)	◎ <u>沖佑典</u> , 磯田充樹(東工大), 巽信彦(東工大), 吉敷祥一(東工大), 石原直(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.959-960	R3 年 7 月
248.	軽量鉄骨下地乾式間仕切り壁の地震時損傷抑制に関する研究 その 27 面内-面外載荷実験(3)	◎磯田充樹(東工大), <u>沖佑典</u> , 巽信彦(東工大), 吉敷祥一(東工大), 石原直(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	材料施工, pp.961-962	R3 年 7 月
249.	地震時における鉄骨造骨組の梁端部の損傷評価に関する振動台実験	◎ <u>廣嶋哲</u> (日本製鉄), <u>長谷川隆</u> , 森田高市, 中川博人, 伊山潤(東大), 岩田善裕, <u>沖佑典</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1187-1188	R3 年 7 月
250.	面内変形と面外慣性力を受ける軽量鉄骨下地乾式間仕切り壁の損傷限界	◎磯田充樹(東工大), <u>沖佑典</u> , 巽信彦(東工大), 吉敷祥一(東工大), 石原直(国総研)	日本建築学会 関東支部研究報告 集	日本建築学会 関東支部	材料施工, pp 959-960	R4 年 3 月
251.	既存建築物への適用を見据えた設計図面からの BIM 化の検討	◎ <u>松林道雄</u>	令和 3 年度国土交通省国土技術研究会発表課題論文集	国土交通省	活力, pp. 6-9	R3 年 11 月
252.	公共建築工事におけるプロジェクト初期からのプロジェクト・マネージャー導入可能性の検討	◎ <u>田村篤</u>	日本建築学会 第 36 回建築生産シンポジウム論文集	日本建築学会	No.36, pp.111-118	R3 年 8 月
253.	既存分譲マンションの浸水対策改修とその費用対効果に関する研究(その1) 研究の枠組み及び対象とするマンションモデル等の前提条件の検討	◎藤木 亮介(明海大学), <u>木内望</u> , 山木慎介(株式会社 翔設計), <u>中野卓</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	建築社会システム, pp.293-294	R3 年 9 月
254.	既存分譲マンションの浸水対策改修とその費用対効果に関する研究(その2) マンションモデル 2 タイプにおける脆弱箇所と浸水対策の検討	◎山木慎介(株式会社 翔設計), 藤木 亮介(明海大学), <u>木内望</u> , <u>中野卓</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	建築社会システム, pp295-296	R3 年 9 月



No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
255.	既存分譲マンションの浸水対策改修とその費用対効果に関する研究(その3) 浸水対策の費用・効果の比較及び改修案の適用性の検討	◎木内望, 山木慎介(株式会社 翔設計), 藤木亮介(明海大学), 中野卓	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	建築社会システム, pp.297-298	R3年 9月
256.	木造戸建て住宅の耐水建築化及び費用対効果に関する研究(その4) 屋根上避難計画案の試作成と追加的建築コストの算定	◎井上拓哉(株式会社 現代計画研究所), 今井信博(株式会社 現代計画研究所), 石山瑠子(株式会社 現代計画研究所), 木内望, 樋本敬大	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	建築社会システム, pp.299-300	R3年 9月
257.	木造戸建て住宅の耐水建築化及び費用対効果に関する研究(その5) 生活回復機能追加案の試作成と追加的建築コストの算定	◎今井信博(株式会社 現代計画研究所), 井上拓哉(株式会社 現代計画研究所), 石山瑠子(株式会社 現代計画研究所), 木内望	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	建築社会システム, pp.301-302	R3年 9月
258.	世帯単位の将来都市構造予測モデルに基づく都市構造評価 Web アプリケーションの作成	◎阪田 知彦, 鈴木 温(名城大), 杉木 直(豊橋技科大), 正木 俊行(アカデミックエクスプレス株式会社), 田 寛之(アカデミックエクスプレス株式会社)	土木計画学研究発表会論文集	土木学会	第 64 巻	R3年 12月
259.	「都市空間の魅力の増進」と「建築と建築学の保存・活用」に関する考察	◎富田興二	建築のスクラップアンドビルドと保存・活用に関する特別調査委員会パネルディスカッション資料 「建築のスクラップアンドビルドと保存・活用のバランスをどう創り出すか」	日本建築学会	TKS-2021 No.45, PP.66-77	R3年 9月
260.	Modeling stress field and deformation associated with the Tohoku-Oki earthquake: Understanding the dynamics of the northeastern Japan islands arc-trench system	Bunichiro Shibazaki, Ryohei Sasajima (京大防災研)	日本地球惑星科学 連合 2021 年大会	日本地球惑星科学 連合	SCG54-02	R3年 5月
261.	Investigation of the Tsunami Earthquake Mechanism Based on Dynamic Rupture Simulations	◎Kenichi Tsuda (清水建設), Bunichiro Shibazaki	AGU Fall meeting	AGU	S52C-05	R3年 12月
262.	A preliminary attempt for automatic measurement of high frequency seismic signal duration	◎原辰彦	日本地球惑星科学 連合 2021 年大会	日本地球惑星科学 連合	STT35-P06	R3年 5月
263.	2011年東北地方太平洋沖地震の津波波源	◎佐竹健治(東大地震研), 藤井雄士郎	日本地球惑星科学 連合 2021 年大会	日本地球惑星科学 連合	U02-02	R3年 5月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
264.	What we learned from the 2011 Tohoku Tsunami that unveils the 1960 Chile Earthquake	◎Tung-Cheng Ho (Kyoto Univ./Univ. Tokyo), Kenji Satake (Univ.Tokyo), Shingo Watada (Univ.Tokyo) , <u>Yushiro Fujii</u>	The 30th International Tsunami symposium	International Tsunami symposium	e90130	R3年 7月
265.	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その18 変形分離によるRC造壁部材の降伏点変形角の算定方法とその精度)	◎王澤霖(東大),楠浩一(東大地震研),勅使川原正臣(名古屋大),浅井竜也(名古屋大),稲井栄一(山口大),太田勤(堀江建築工学研究所), <u>諏訪田晴彦</u> ,坂下雅信(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.507-508	R3年 7月
266.	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その19 試験体概要)	◎勅使川原正臣(中部大),楠浩一(東大地震研),稲井栄一(山口大),梶原浩一(防災科研),太田勤(堀江建築工学研究所),迫田丈志(堀江建築工学研究所),浅井竜也(名古屋大), <u>諏訪田晴彦</u> ,福山洋	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.509-510	R3年 7月
267.	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その20 試験体の設計)	◎迫田丈志(堀江建築工学研究所),勅使川原正臣(中部大),楠浩一(東大地震研),稲井栄一(山口大),尾畑徹(堀江建築工学研究所),高橋愛(堀江建築工学研究所),浅井竜也(名古屋大), <u>諏訪田晴彦</u> , <u>向井智久</u>	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.511-512	R3年 7月
268.	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その22 加振計画)	◎稲井栄一(山口大),勅使川原正臣(中部大),楠浩一(東大地震研),丸山一平(名古屋大)梶原浩一(防災科研),青木崇(防災科研),迫田丈志(堀江建築工学研究所), <u>諏訪田晴彦</u> ,坂下雅信(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.515-516	R3年 7月
269.	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その23 応答結果)	◎日比野陽(名古屋大),勅使川原正臣(中部大),楠浩一(東大地震研),稲井栄一(山口大),丸山一平(名古屋大),高橋愛(堀江建築工学研究所),浅井竜也(名古屋大), <u>諏訪田晴彦</u> ,有木克良	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.517-518	R3年 7月
270.	RC造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その26 履歴減衰定数)	◎長江拓也(名古屋大),勅使川原正臣(中部大),楠浩一(東大地震研),稲井栄一(山口大),尾畑徹(堀江建築工学研究所),浅井竜也(名古屋大), <u>諏訪田晴彦</u> ,坂下雅信(国総研)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造IV, pp.523-524	R3年 7月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
271.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その 27 降伏変形評価手法の提案)	◎浅井竜也(名古屋大), 勅使川原正臣(中部大), 楠浩一(東大地震研), 稲井栄一(山口大), 長江拓也(名古屋大), 高橋愛(堀江建築工学研究所), 吉川拳人(名古屋大), 諏訪田晴彦, 向井智久	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅳ, pp.525-526	R3 年 7 月
272.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その 28 高次モード成分を含む層せん断力の検討)	◎中村緋奈美(山口大), 稲井栄一(山口大), 勅使川原正臣(中部大), 楠浩一(東大地震研), 長江拓也(名古屋大), 迫田丈志(堀江建築工学研究所), 太田勤(堀江建築工学研究所), 諏訪田晴彦, 有木克良	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅳ, pp.527-528	R3 年 7 月
273.	RC 造建物の振動減衰性状評価方法の検討(その 29 設計への提案)	◎太田勤(堀江建築工学研究所), 勅使川原正臣(中部大), 楠浩一(東大地震研), 稲井栄一(山口大), 長江拓也(名古屋大), 丸山一平(名古屋大), 梶原浩一(防災科研), 諏訪田晴彦, 福山洋	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅳ, pp.529-530	R3 年 7 月
274.	地震時における鉄骨造骨組の梁端部の損傷評価に関する振動台実験 その 1 実験計画と荷重変形関係	◎伊山潤(東京大), 廣嶋哲(日本製鉄), 長谷川隆, 森田高市, 中川博人	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1185-1186	R3 年 7 月
275.	地震時における鉄骨造骨組の梁端部の損傷評価に関する振動台実験 その 2 損傷経過と疲労性能評価	◎廣嶋哲(日本製鉄), 長谷川隆, 森田高市, 中川博人, 伊山潤(東京大), 岩田善裕, 沖佑典	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.1187-1188	R3 年 7 月
276.	中層鉄骨造庁舎の地盤増幅特性と相互作用に関する考察	◎鹿嶋俊英, 中川博人	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 903-904	R3 年 7 月
277.	千葉市にある鉄骨造高層建物の強震観測	◎中川博人, 鹿嶋俊英	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp. 901-902	R3 年 7 月
278.	Empirical Long-period Ground Motion Models for Design Motions to Buildings in Japan	◎Sato, T.(大崎総研), H. Nakagawa, S. Koyama, T. Sato(大崎総研), M. Todo(大崎総研) I. Okawa(東京ソイル)	6th IASPEI/IAEE Int'l Symp.: Effects of Surface Geology on Seismic Motion	日本地震工学会	GS7-101, 10	R3 年 8 月
279.	Relationship of in-slab events with episodic tremor and slip and detection of updip slow slip near the locked megathrust in the Nankai subduction	◎Saeko Kita, Heidi Houston(USC), Suguru Yabe(産総研), Sachiko Tanaka, Youichi Asano(防災科研), Takuo Shibutani(京大), Naoki Suda(広大)	AGU Fall Meeting 2021	米国地球物理学会	T24B-03	R3 年 12 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
280.	紀伊半島下のゆっくりすべりスラブ内地震と内陸地震	◎Saeko Kita, Heidi Houston (USC), Suguru Yabe(産総研), Sachiko Tanaka, Youichi Asano(防災科研), Takuo Shibutani(京大), Naoki Suda(広大)	日本鉱物科学会 2021 年年会・総会	日本鉱物科学会	S1,S4-01	R3 年 9 月
281.	Effects of ETS on seismicity and stress in the subducting oceanic plate	◎Saeko Kita, Heidi Houston (USC), Suguru Yabe(産総研), Sachiko Tanaka, Youichi Asano(防災科研), Takuo Shibutani(京大), Naoki Suda(広大)	日本地球惑星科学 連合 2021 年大会	日本地球惑星科学 連合	SCG50-14	R3 年 6 月
282.	Completeness magnitude of earthquakes and spatial variations of b-VALUE in Myanmar	◎Ngun Za lang (ミャンマー気象庁), <u>Saeko Kita</u>	日本地球惑星科学 連合 2021 年大会	日本地球惑星科学 連合	SIT20-P04	R3 年 6 月
283.	Microtremor observation in the Kathmandu valley, Nepal: Past, Present, and Future perspectives	◎M. Bhattarai (DMG), R. Shanna (DMG), S. Bhattarai (DMG), T. Pokrarel (DMG), C. Timsina (DMG), S. Shrestha (DMG), D. Nepali (DMG), M. Nakarmi (DMG), P. Tuladhar (DMG), <u>T. Hayashida, T. Yokoi,</u> H. Miyake (Univ. Tokyo), K. Kusunoki (Univ. Tokyo)	日本地球惑星科学 連合 2021 年大会	日本地球惑星科学 連合	SCG40-08	R3 年 5 月
284.	Broadband microtremor array exploration in Kathmandu Valley, Nepal	◎T. Yokoi, T. Hayashida, M. Bhattarai (DMG), T. Pokharel (DMG), S. Shrestha (DMG), S. Dhakal (DMG), C. Timsina (DMG), S. Bhattarai (DMG), R. Sharma (DMG), D. Nepali (DMG)	日本地球惑星科学 連合 2021 年大会	日本地球惑星科学 連合	SCG40-09	R3 年 5 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
285.	Measuring surface-wave phase velocities (< 0.2 Hz) using teleseismic/ambient noise data in the Kathmandu Valley, Nepal	◎T. Hayashida, T. Yokoi, M. Bhattarai (DMG), T. Pokharel (DMG), S. Shrestha (DMG), C. Timsina (DMG), S. Bhattarai (DMG), R. Sharma (DMG), D. Nepali (DMG)	日本地球惑星科学 連合 2021 年大会	日本地球惑星科 学連合	SCG40-P04	R3 年 5 月
286.	Can Vs30 be estimated directly from SPAC and CCA coefficients? examinations using microtremor array data-	◎T. Hayashida, T. Yokoi	6th IASPEI/IAEE Int'l Symp.: Effects of Surface Geology on Seismic Motion	日本地震工学会	GS2-P12	R3 年 8 月
287.	Results of blind prediction STEP 1: subsurface velocity structure model of Kumamoto test site	◎K. Chimoto (Kagawa Univ.), H. Yamanaka (TITECH), S. Tsuno (RRE), M. Shigefuji (Kyushu Univ.), T. Kanno (Kyushu Univ.), H. Sato (CRIEPI), S. Higashi (CRIEPI), D. Shinoyama (CRIEPI), M. Yoshimi (AIST), T. Sugiyama (Tokumaru Professional Engineer Office), N. Takai (Hokkaido Univ.), S. Matsushima (Kyoto Univ.), F. Nagashima (Kyoto Univ.), H. Kawase (Kyoto Univ.), T. Hayakawa (Shimizu Co.), T. Uetake (TEPCO), S. Senna (NIED), Y. Inagaki (OYO), T. Hayashida, S. Oji (Chuo Kaihatsu Co.)	6th IASPEI/IAEE Int'l Symp.: Effects of Surface Geology on Seismic Motion	日本地震工学会	SS102	R3 年 8 月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
288.	Estimation of surface wave dispersion characteristics using ambient noise records in Ulaanbaatar region, Mongolia	◎L.j Dalajjargal (IAGMAS, Mongolia), T Hayashida, T. Yokoi, S. Demberel (IAG-MAS, Mongolia), C. Odonbaatar (IAG-MAS, Mongolia), M. Ulziibat (IAG-MAS, Mongolia)	3rd Joint IAGA- IASPEI Scientific Assembly	International Association of Geomagnetism and Aeronomy, International Association of Seismology and Physics of the Earth's Interior	No. 46	R3年 9月
289.	Strong motion estimation in Costa Rica at specific sites using spectral inversion method	◎N. Esquivel (ICE, Costa Rica), T. Yokoi, T. Hayashida	3rd Joint IAGA- IASPEI Scientific Assembly	International Association of Geomagnetism and Aeronomy, International Association of Seismology and Physics of the Earth's Interior	No. 648	R3年 9月
290.	MeSO-net 観測記録に見られる2020年の微動振幅の低下とその要因	◎林田拓己, 吉見雅行(産総研), 鈴木晴彦(応用地質), 森伸一郎 (愛媛大), 香川敬生(鳥取大), 山 田雅行(ニュージェック), 一井康二 (関西大)	第41回地震工学研 究発表会	土木学会	D14-2361	R3年 9月
291.	Feasibility study on earthquake early warning system for the City of Lima, Peru, using a strong-motion network	◎C. Calderon (CISMID, Peru), T. Hayashida	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.1d-0009	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
292.	A benchmark test for microtremor explorations: phase velocity for irregular subsurface structures	◎M. Ohori (Fukui Univ.), H. Uebayashi (Kyoto Univ.), I. Cho (AIST), <u>H. Arai</u> , K. Yoshida (GEOR), H. Suzuki (OYO), H. Takahashi (Meijo Univ.), Y. Hagiwara (Obayashi Co.), A. Nobata (Obayashi Co.), T. Hayakawa (Shimizu Co.), <u>T. Hayashida</u> , <u>T. Yokoi</u> , S. Kishi (Fujita Co.), T. Sekiguchi (Chiba Univ.), K. Kojima (Univ. Fukui), S. Ling (Geo-Analysis Institute Co.), K. Motoki (Kobori Research Complex Inc.), <u>H. Nakagawa</u> , T. Noguchi (Tottori Univ.), K. Tsuchida (Hanshin Consultants Co.), M. Nagano (Tokyo Univ. Sci.)	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.1d-0087	R3年 9月
293.	Broadband microtremor array exploration in Kathmandu Valley, Nepal	◎ <u>T. Yokoi</u> , <u>T. Hayashida</u> , M. Bhattarai (DMG), T. Pokharel (DMG), S. Shrestha (DMG), C. Timsina (DMG), S. Bhattarai (DMG), R. Sharma (DMG), D. Nepali (DMG)	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.1d-0125	R3年 9月
294.	Joint inversion of surface-wave phase and group velocities toward efficient estimation of deep S-wave velocity structure -Kathmandu Valley, Nepal	◎ <u>T. Hayashida</u> , <u>T. Yokoi</u> , M. Bhattarai (DMG), N. Maharjan (DMG)	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.10a-0045	R3年 10月
295.	MeSO-net 観測記録データトラフィックにみる2020年の首都圏における常時微動レベル低下と要因検証	◎林田拓己(産総研), 鈴木晴彦(応用地質), 森伸一郎(愛媛大), 香川敬生(鳥取大), 山田雅行(ニュージエック), 一井康二(関西大)	日本地震学会 2021 年秋季大会	日本地震学会	S16-04	R3年 10月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・ 頁	発行 年月
296.	首都圏における現行基準木造軸組構 法住宅の耐震性に関する研究	◎ <u>大塚悠里</u> , 五十田博(京大生 存圏), 平石久廣(明治大)	日本建築学会 学術講演梗概集	日本建築学会	構造Ⅲ, pp.501-502	R3年 9月
297.	STRENGTH AND DEFORMATION OF MASONRY WALLS SUBJECTED TO LATERAL FORCES - REVIEW OF EXISTING TEST DATA	◎菅野俊介(広島大), <u>大塚悠里</u> , <u>小豆畑達哉</u>	Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering	JAPAN ASSOCIATION FOR EARTHQUAKE ENGINEERING	Presentation No.2c-0044	R3年 9月



## 14-3 雑誌掲載等

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・頁	発行 年月
1.	建築物等の強風被害軽減に向けた建築研究所の取り組み	<u>奥田泰雄</u>	建築コスト情報	建設物価調査会	第90号, pp.13-18	R3年 7月
2.	強風被害軽減に資する建築研究所の取り組み	<u>奥田泰雄</u>	建築防災	日本建築防災協会	通算524号, pp.16-23	R3年 9月
3.	津波に対する建築物の安全性向上の取り組み	<u>奥田泰雄</u>	基礎工	総合土木研究所	第49巻, 第11号 (通巻580号), pp.47-49	R3年 11月
4.	建築分野における基礎工の耐震設計の現状と関連する技術開発の取組み	◎ <u>新井洋</u>	基礎工	(株)総合土木研究所	第49巻, 第8号, pp.2-7	R3年 8月
5.	ISO/TC 43・ISO/TC 43/SC 1・ISO/TC 43/SC 2・ISO/TC 43/SC 3 総会* — 音響に関する国際規格の審議状況:2021 パリ会議(オンライン開催) —	◎鈴木陽一, 倉片憲治, 今泉博之, 佐藤 洋, 赤松友成, 山崎隆志, 藤坂洋一, 内田匠, 鶴木祐史, 桑野園子, 山田一郎, 大島俊也, 高橋幸雄, 下田康平, 白橋良宏, 杉江 聡, 小林知尋, 永幡幸司, 森長 誠, 白木秀児, 平光厚雄, 古賀貴士, <u>平川 侑</u> , 澤田浩一	日本音響学会誌	日本音響学会	第78巻, 第4号, pp.203-208	R4年 2月
6.	2.3.ランダムフォレストによる回帰モデルを用いた異なる標準重量衝撃源を用いた重量床衝撃音レベル低減量の算出手法	◎ <u>平川侑</u> , 平光厚雄	音響技術	日本音響材料協会	第50巻 第4号 pp.28~33	R3年 12月
7.	木材需要拡大に資する大型建築物普及のための技術開発【PRISM】 木造建築物の音環境からみた快適性向上技術(木造の音環境)	◎ <u>平川侑</u> , 平光厚雄	住宅と木材	日本住宅・木材技術センター	第45巻 No.517, pp.14-15	R4年 1月
8.	木造に有効な建築材料 防耐火処理(薬剤処理)	◎ <u>成瀬 友宏</u> , 鈴木 淳一	建築技術	(株)建築技術	pp.84-85	R3年 8月
9.	木造に有効な建築材料 防耐火処理(被覆型)	◎鈴木 淳一, <u>成瀬 友宏</u>	建築技術	(株)建築技術	pp.84-85	R3年 8月
10.	『建築保全標準』の概要と解説 「点検標準仕様書」の概要	◎ <u>鹿毛忠継</u>	防水ジャーナル	(株)新樹社	第52巻, 第7号, pp.33-38	R3年 7月
11.	建築保全標準(鉄筋コンクリート造建築物) -その概要と今後の展開-	◎ <u>鹿毛忠継</u> , 黒田泰弘	セメント・コンクリート	セメント協会	No.894, pp.8-14	R3年 8月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・頁	発行 年月
12.	「建築保全標準・同解説」の全貌 JAMS 1-RC(一般共通事項), JAMS 2-RC(点検標準仕様書) 保全の標準化と点検への理解	◎ <u>鹿毛忠継</u>	月刊「リフォーム」	(株)テツアダー出版	Vol.38, No.448, pp.24-31	R3年 6月
13.	仕上げ材の保全・補修・点検のポイント 建築保全標準・同解説のポイント	◎ <u>鹿毛忠継</u>	建築技術	(株)建築技術	No.859, pp.126-129	R3年 7月
14.	日本建築学会「建築保全標準・同解説 (鉄筋コンクリート造建築物)JAMS-RC」 の概要	◎ <u>濱崎仁, 野口貴文, 鹿毛忠継</u>	コンクリート工学	日本コンクリート工 学会	第 59 巻, 第 10 号, pp.849-856	R3 年 10 月
15.	既存建築物を安心して継続使用するための 非破壊検査・診断と体制	◎ <u>棚野博之</u>	日刊工業新聞	日刊工業新聞社	5月25日号	R3年 5月
16.	木造へゲームチェンジする理由	◎ <u>榎本敬大</u>	建築技術	(株)建築技術	第 86 号, 1 月号, pp.116-117	R4年 1月
17.	木造需要拡大に資する大型建築物普及 のための技術開発【PRISM】 汎用型高層集材構造の設計技術	◎ <u>榎本敬大, 秋山信彦</u>	住宅と木材	日本住宅・木材技 術センター	Vol. 45, No.517, pp.6-7	R4年 1月
18.	木造需要拡大に資する大型建築物普及 のための技術開発【PRISM】 土地の有効利用に資する木造建築物 の高層化技術	◎ <u>榎本敬大</u>	住宅と木材	日本住宅・木材技 術センター	Vol. 45, No.517, pp.8-9	R4年 1月
19.	多層木造建築物の現状整理	◎ <u>榎本敬大</u>	建築技術	(株)建築技術	No.866, 3月号, pp.80-83	R4年 3月
20.	世界の BIM を活用した建築許可・確認 の動向	◎ <u>武藤正樹</u>	建築士	日本建築士会連合 会	pp.28-29	R4年 1月
21.	水害対策のモデルスタディ -木造戸建て住宅に関する検討紹介-	◎ <u>木内望</u>	ベース設計資料	建設工業調査会	No.190号, pp.40-43	R4年 3月
22.	住まいとまちの水害対策	◎ <u>木内望</u>	住宅	日本住宅協会	第 70 巻, 第 9 号, pp.48-51	R3年 9月
23.	住宅と建築物の浸水対策とその費用対 効果	◎ <u>木内望</u>	建築防災	日本建築防災協会	第 524 号 pp.24-35	R3年 9月
24.	借上型仮設住宅の特性と課題-東日 本大震災及び熊本地震での実態に基 づいて	◎ <u>米野史健</u>	都市住宅学	都市住宅学会	第 113 号, pp.109-112	R3年 4月
25.	CPD 講座 災害からの住まいの復興 第1回 住まいの復興の全体像	◎ <u>米野史健</u>	建築士	日本建築士連合会	pp.36-39	R3年 7月
26.	CPD 講座 災害からの住まいの復興 第2回 被害認定と応急修理	◎ <u>米野史健</u>	建築士	日本建築士連合会	pp.38-41	R3年 8月
27.	CPD 講座 災害からの住まいの復興 第3回 賃貸型応急住宅	◎ <u>米野史健</u>	建築士	日本建築士連合会	pp.36-39	R3年 9月

No.	所外発表論文名	著者名 (◎は筆頭著者、 下線は建築研究所)	書誌名	発行所 (学会等)	巻号・月号・頁	発行 年月
28.	CPD 講座 災害からの住まいの復興 第4回 建設型応急住宅	◎米野史健	建築士	日本建築士連合会	pp.34-37	R3 年 10 月
29.	CPD 講座 災害からの住まいの復興 第5回 自宅再建への公的支援	◎米野史健	建築士	日本建築士連合会	pp.40-43	R3 年 11 月
30.	CPD 講座 災害からの住まいの復興 第6回 住宅地の復興事業	◎米野史健	建築士	日本建築士連合会	pp.36-39	R3 年 12 月
31.	CPD 講座 災害からの住まいの復興 第7回 災害公営住宅	◎米野史健	建築士	日本建築士連合会	pp.36-39	R4 年 1 月
32.	東日本大震災における住宅復興の特 徴と成果・課題	◎米野史健	危機管理防災研究	日本危機管理防災 学会	第 27 号, pp.15-24	R3 年 8 月
33.	書評: Edward Barsley, Retrofitting for Flood Resilience : A Guide to Building & Community Design RIBA Publishing, 2019 年	◎中野卓	Tokyo Academic Review of Books	やまなみ書房	vol.18 (2021)	R3 年 5 月
34.	高層住宅地化する大都市圏郊外駅前: その現状と課題	◎中野卓	都市住宅学	都市住宅学会	第 113 号, pp.36-42	R3 年 4 月
35.	東北地方太平洋沖地震前後の長期的 な太平洋沿岸の上下変動—超巨大地 震の歪蓄積と解放過程	芝崎文一郎, 篠島僚平	科学	岩波出版	第 91 巻, 第 11 号, pp.1058-1062	R3 年 11 月
36.	2011 年東北地方太平洋沖地震の津波 波源	◎佐竹健治, 藤井雄士郎	月刊地球	海洋出版	第 44 巻, 第 2 号, pp.64-69	R4 年 2 月
37.	既存杭活用のための杭頭絶縁基礎工 法の研究開発の現状	◎柏尚稔, 中川博人, 中井正 一	基礎工	総合土木研究所	第 49 巻, 第 8 号, pp. 34-37	R3 年 8 月